

令和4年度

第2回 市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書課

1 アンケートの概要

調査対象者	令和4年度 市政モニター 188人
調査期間	令和4年9月1日(木)～令和4年9月15日(木)
調査方法	郵送またはインターネット
テーマ	③ 新居浜市民の健康意識に関する調査について ④ 新居浜市環境基本計画について ⑤ 防災について

回答率

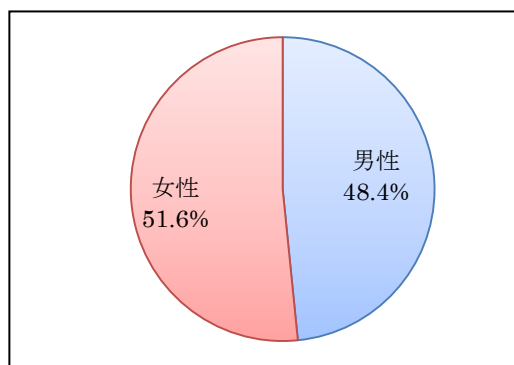
テーマ	モニター数(人)	回答者数(人)	回答率
③	188	160	85.1%
④	188	158	84.0%
⑤	188	158	84.0%

2 市政モニター内訳 (※令和4年9月1日時点)

<性別>

(単位:人)

男性	91 (48.4%)
女性	97 (51.6%)
合計	188 (100.0%)

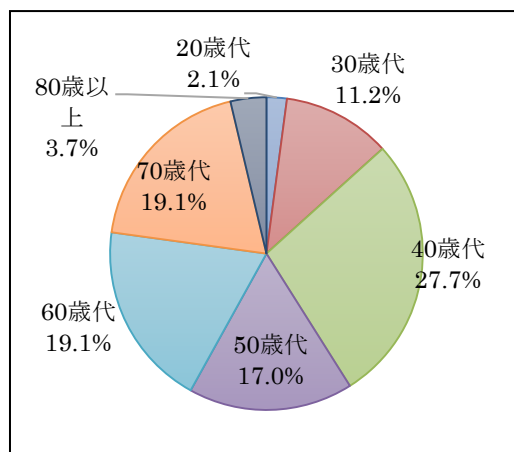


<年代別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
20歳代	2	2	4 (2.1%)
30歳代	5	16	21 (11.2%)
40歳代	18	34	52 (27.7%)
50歳代	13	19	32 (17.0%)
60歳代	20	16	36 (19.1%)
70歳代	27	9	36 (19.1%)
80歳以上	6	1	7 (3.7%)

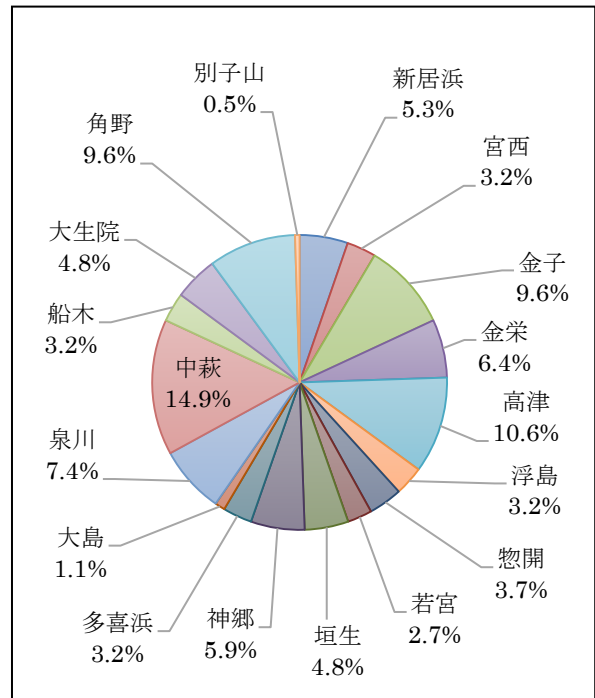
※年齢は令和4年4月1日時点



＜居住地域別＞

(単位：人)

	男性	女性	合計
新居浜	3	7	10 (5.3%)
宮西	1	5	6 (3.2%)
金子	11	7	18 (9.6%)
金栄	2	10	12 (6.4%)
高津	10	10	20 (10.6%)
浮島	4	2	6 (3.2%)
惣開	4	3	7 (3.7%)
若宮	3	2	5 (2.7%)
垣生	4	5	9 (4.8%)
神郷	8	3	11 (5.9%)
多喜浜	1	5	6 (3.2%)
大島	2	0	2 (1.1%)
泉川	7	7	14 (7.4%)
中萩	15	13	28 (14.9%)
船木	5	1	6 (3.2%)
大生院	4	5	9 (4.8%)
角野	6	12	18 (9.6%)
別子山	1	0	1 (0.5%)



＜回答方法 種別＞

(単位：人)

郵送モニター	74 (39.4%)
Eメールモニター	114 (60.6%)
合計	188 (100.0%)

＜選任方法 種別＞

(単位：人)

公民館推薦	42 (22.3%)
公募	146 (77.7%)
合計	188 (100.0%)

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

3 調査結果

テーマ④ 新居浜市民の健康意識について

【調査趣旨】

新居浜市が目指す健康寿命の延伸を実現するためには、より若い世代からの生活習慣病の発症及び重症化予防が大変重要であり、そのためには、運動、栄養等の生活改善や、特定健診、がん検診、人間ドック等を受診することによる疾病の早期発見が重要となります。

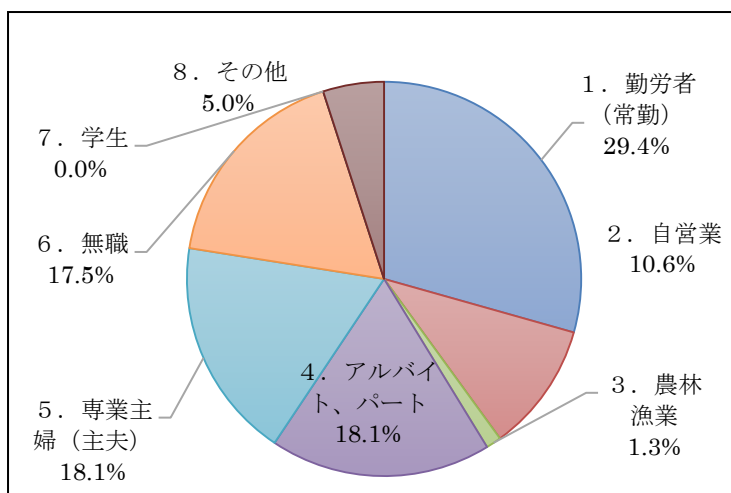
新居浜市は健診の自己負担金の無料化に伴い、特定健診や各種がん検診受診率が年々増加傾向にあります。新型コロナウイルス感染症拡大による受診控え等も影響し受診者数が伸び悩んでおり、疾病の重症化リスクを高める一つの要因になっていると考えています。そのことから今回のアンケートにおいて、市民の皆さんの検診受診状況や、健康診査等に関する意識や意見を伺うことによって、今後の健康づくりに活用していきたいと考えています。

(担当課：保健センター・国保課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. あなたの職業を教えてください。(1つ選択)

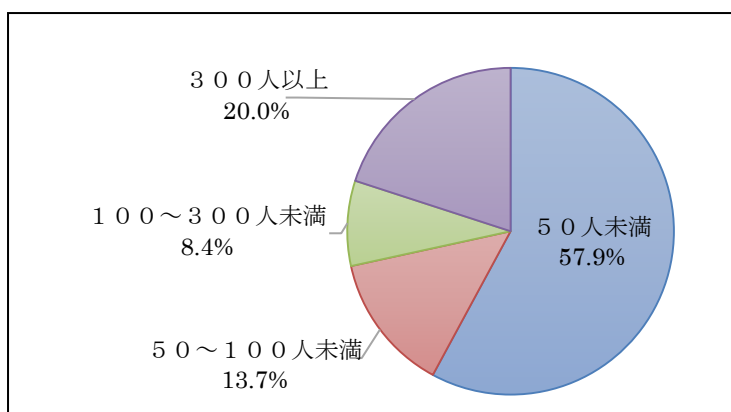
1. 勤労者（常勤）	47人
2. 自営業	17人
3. 農林漁業	2人
4. アルバイト、パート	29人
5. 専業主婦（主夫）	29人
6. 無職	28人
7. 学生	0人
8. その他	8人
合計	160人



「1. 勤労者（常勤）」(29.4%)と答えた方が最も多く、次いで「5. 専業主婦（主夫）」(18.1%)、「4. アルバイト、パート」(18.1%)、「6. 無職」(17.5%)、「2. 自営業」(10.6%)の順となっています。

問3. 問2で1～4を選んだ方にお聞きします。職場（事業所）の従業員数は何人ですか。

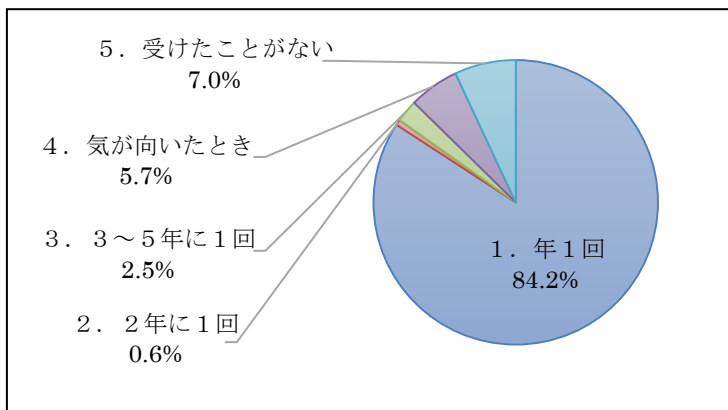
1. 50人未満	55人
2. 50～100人未満	13人
3. 100～300人未満	8人
4. 300人以上	19人
合計	95人



「1. 50人未満」(57.9%)と答えた方が最も多く、次いで「4. 300人以上」(20.0%)、「2. 50～100人未満」(13.7%)、「3. 100～300人未満」(8.4%)の順となっています。

問4. 定期的に健康診査(血液検査)を受診していますか。(市の健診、職場健診、人間ドック、脳ドックを含む)(1つ選択)

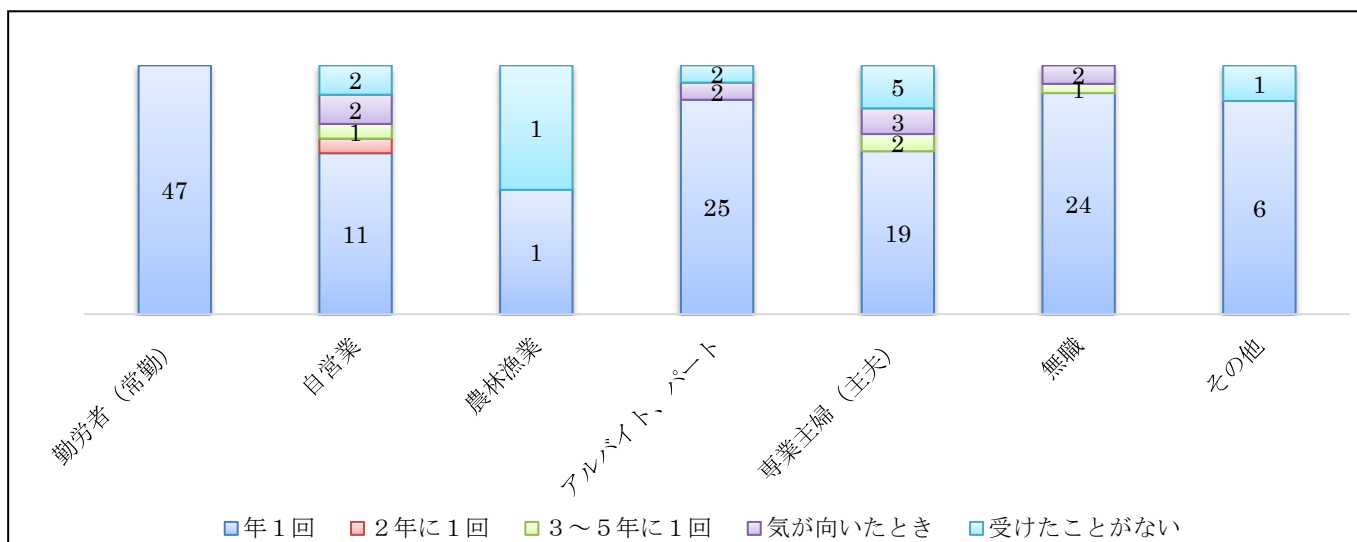
1. 年1回	133人
2. 2年に1回	1人
3. 3～5年に1回	4人
4. 気が向いたとき	9人
5. 受けたことがない	11人
合計	158人



「1. 年1回」(84.2%)と答えた方が最も多く、多くの方が年に1回定期的な健康診査を行っていることがわかりました。※回答者の職業(問2)と、定期的な健康診査受診(問4)との関連性は次のとおりです。

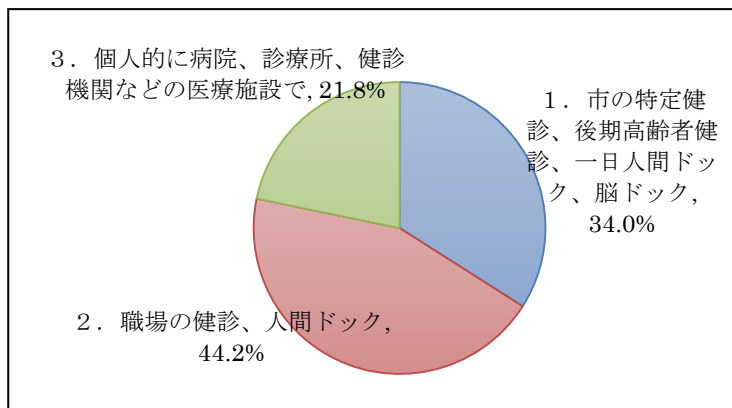
【クロス集計(職業別×問4)】

	1. 勤労者(常勤)	2. 自営業	3. 農林漁業	4. アルバイト、パート	5. 専業主婦(主夫)	6. 無職	7. その他	合計
1. 年1回	47人	11人	1人	25人	19人	24人	6人	133人
2. 2年に1回		1人						1人
3. 3～5年に1回		1人			2人	1人		4人
4. 気が向いたとき		2人		2人	3人	2人		9人
5. 受けたことがない		2人	1人	2人	5人		1人	11人
回答者人数	47人	17人	2人	29人	29人	27人	7人	158人



問5. 問4で1～4を選んだ方にお聞きします。どこで健康診査（血液検査）を受診していますか。
（1つ選択）

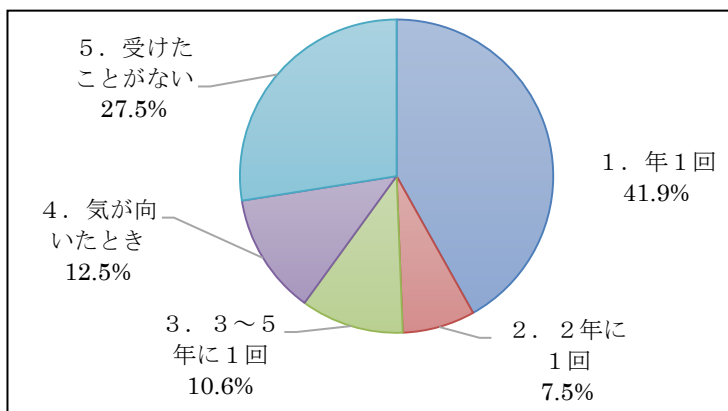
1. 市の特定健診、後期高齢者健診、一日人間ドック、脳ドック	50人
2. 職場の健診、人間ドック	65人
3. 個人的に病院、診療所、健診機関などの医療施設で	32人
合計	147人



「2. 職場の健診、人間ドック」(44.2%)、次いで「1. 市の特定健診、後期高齢者健診、一日人間ドック、脳ドック」(34.0%)、「3. 個人的に病院、診療所、健診機関などの医療施設で」(21.8%)という順になりました。

問6. 定期的ながん検診を受診していますか。（市の検診、職場健診、人間ドックを含む）
（1つ選択）

1. 年1回	67人
2. 2年に1回	12人
3. 3～5年に1回	17人
4. 気が向いたとき	20人
5. 受けたことがない	44人
合計	160人

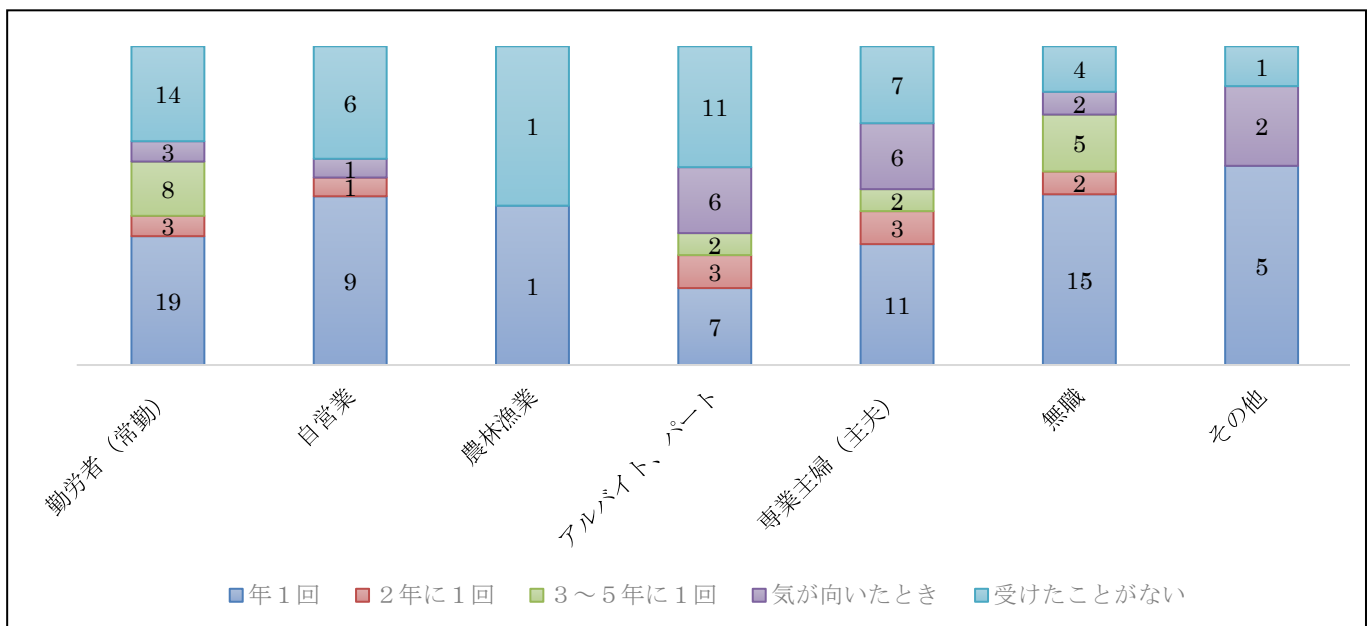


定期的ながん検診を受診している方は「1. 年1回」(41.9%)と答えた方が最も多く、次いで「4. 気が向いたとき」(12.5%)、「3. 3～5年に1回」(10.6%)、「2. 2年に1回」(7.5%)となりました。一方で、27.5%の方が「5. 受けたことがない」と答えられています。

※回答者の職業（問2）と、定期的ながん検診受診（問6）との関連性は次のとおりです。

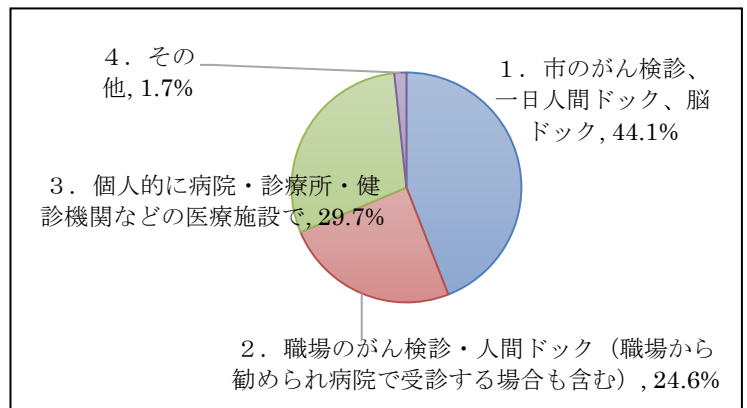
【クロス集計（職業別×問6）】

	1. 勤労者（常勤）	2. 自営業	3. 農林漁業	4. アルバイト、パート	5. 専業主婦（主夫）	6. 無職	7. その他	合計
1. 年1回	19人	9人	1人	7人	11人	15人	5人	67人
2. 2年に1回	3人	1人		3人	3人	2人		12人
3. 3～5年に1回	8人			2人	2人	5人		17人
4. 気が向いたとき	3人	1人		6人	6人	2人	2人	20人
5. 受けたことがない	14人	6人	1人	11人	7人	4人	1人	44人
回答者人数	47人	17人	2人	29人	29人	28人	8人	160人



問7. 問6で1～4を選んだ方にお聞きします。どこでがん検診を受診していますか。（1つ選択）

1. 市のがん検診、一日人間ドック、脳ドック	67人
2. 職場のがん検診・人間ドック（職場から勧められ病院で受診する場合も含む）	12人
3. 個人的に病院・診療所・健診機関などの医療施設で	17人
4. その他	20人

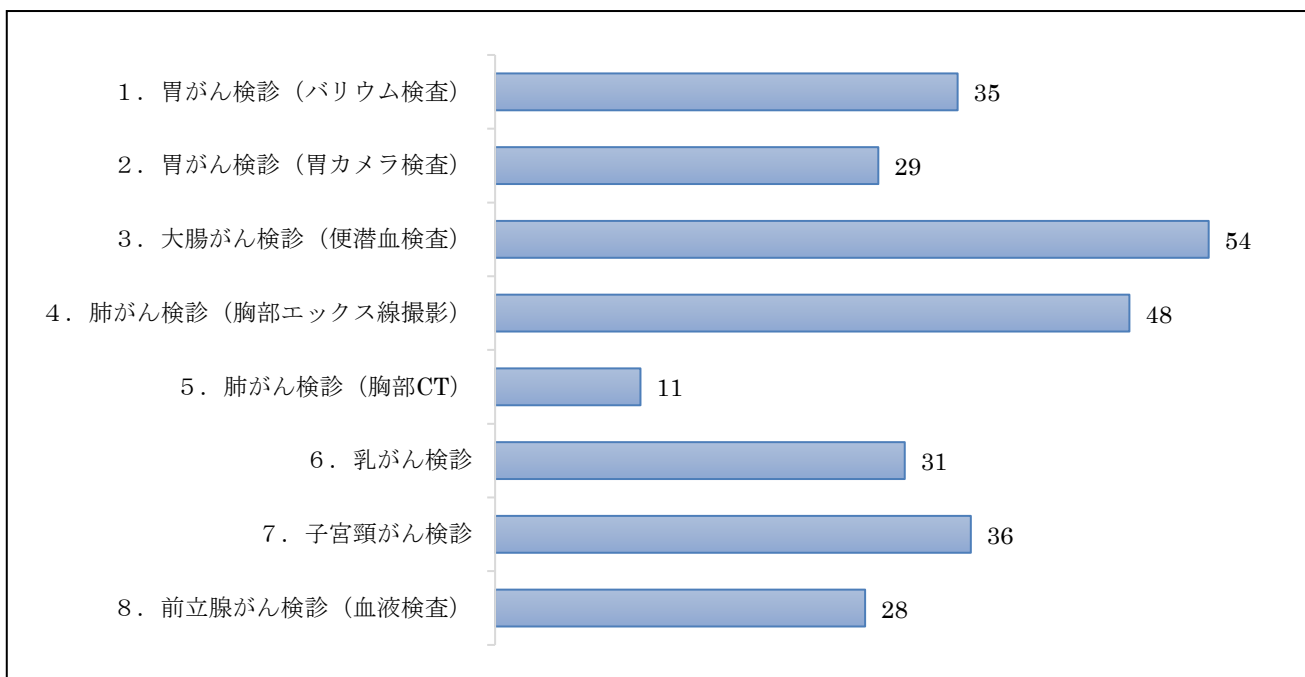


「1. 市のがん検診、一日人間ドック、脳ドック」(44.1%)と答えられた方が最も多く、次いで「3. 個人的に病院・診療所・健診機関などの医療施設で」(29.7%)、「2. 職場のがん検診・人間ドック(職場から勧められ病院で受診する場合も含む)」(24.6%)となっています。

問8. 問6で1～4を選んだ方にお聞きします。この1年間にごがん検診(市のがん検診や職場健診、人間ドックなど)を受けましたか。受けた検診項目をお答えください。(複数選択)

※この1年間とは、令和3年4月～現在までの期間のことを言います。ただし、乳がん・子宮頸がん検診については、令和2年4月～現在までの2年間で受けた方が選択してください。

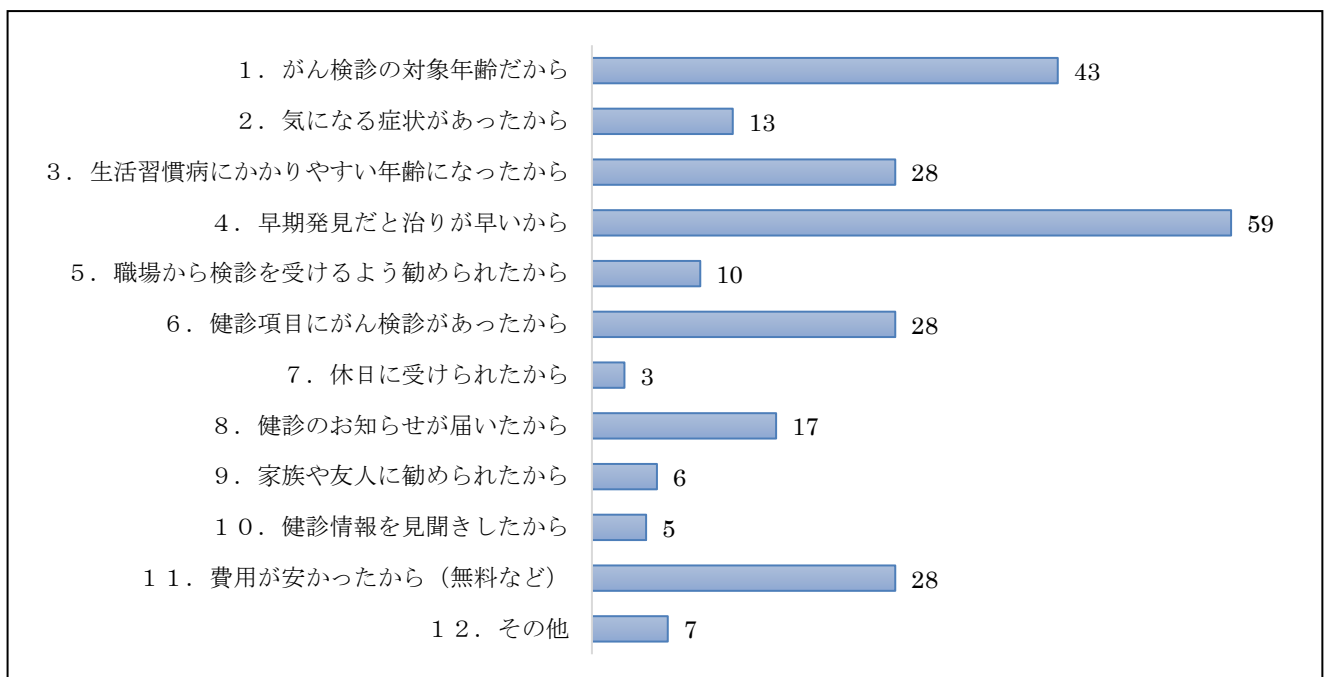
1. 胃がん検診(バリウム検査)	35人
2. 胃がん検診(胃カメラ検査)	29人
3. 大腸がん検診(便潜血検査)	54人
4. 肺がん検診(胸部エックス線撮影)	48人
5. 肺がん検診(胸部CT)	11人
6. 乳がん検診	31人
7. 子宮頸がん検診	36人
8. 前立腺がん検診(血液検査)	28人



「3. 大腸がん検診(便潜血検査)」(54人)が最も多く、次いで「4. 肺がん検診(胸部エックス線撮影)」(48人)、「1. 胃がん検診(バリウム検査)」(35人)、となっています。

問9. 問6で1～4を選んだ方にお聞きします。がん検診を受けた理由は何ですか。(複数選択)

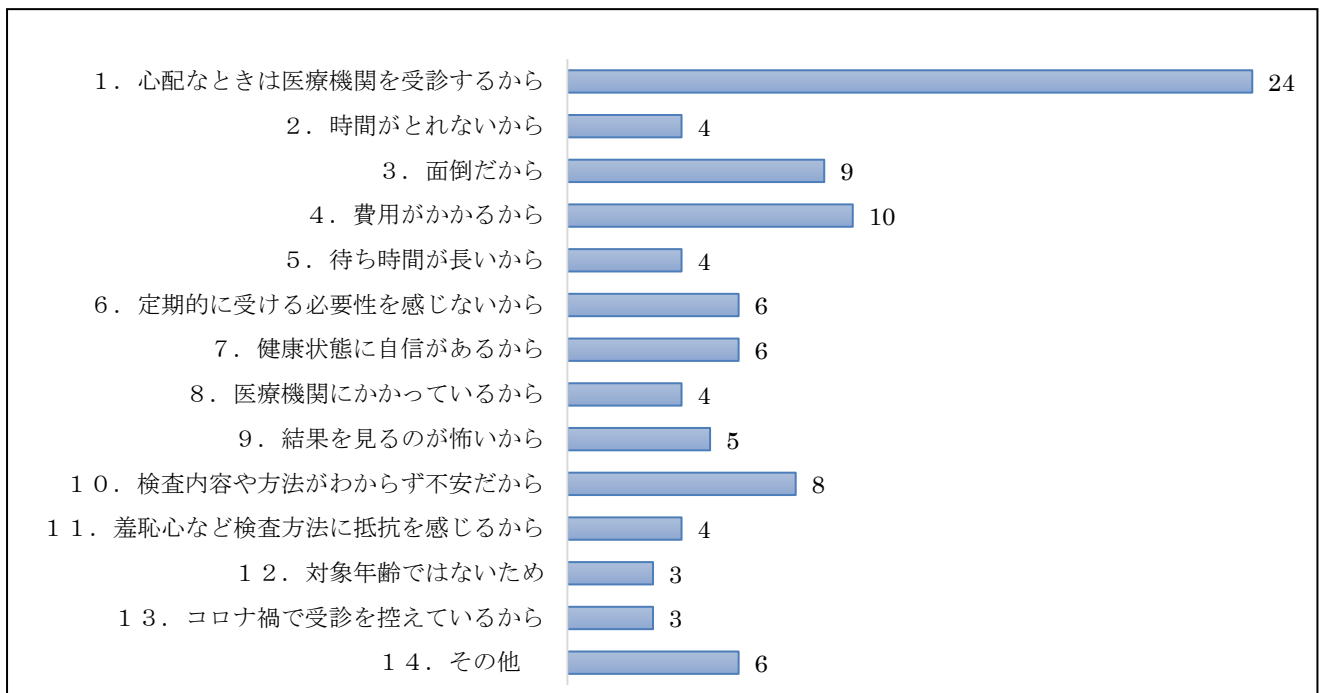
1. がん検診の対象年齢だから	43人
2. 気になる症状があったから	13人
3. 生活習慣病にかかりやすい年齢になったから	28人
4. 早期発見だと治りが早いから	59人
5. 職場から検診を受けるよう勧められたから	10人
6. 健診項目にがん検診があったから	28人
7. 休日に受けられたから	3人
8. 健診のお知らせが届いたから	17人
9. 家族や友人に勧められたから	6人
10. 健診情報を見聞きしたから	5人
11. 費用が安かったから(無料など)	28人
12. その他	7人



「4. 早期発見だと治りは早いから」(59人)、「1. がん検診の対象年齢だから」(43人)、「3. 生活習慣病にかかりやすい年齢になったから」(28人)、「6. 健診項目にがん検診があったから」(28人)、「11. 費用が安かったから(無料など)」(28人)などが、健診を受けた理由として多く挙げられています。

問10. 問6で「5. 受けたことがない」と答えた方にお聞きします。がん検診を受けない理由は何ですか。(複数選択)

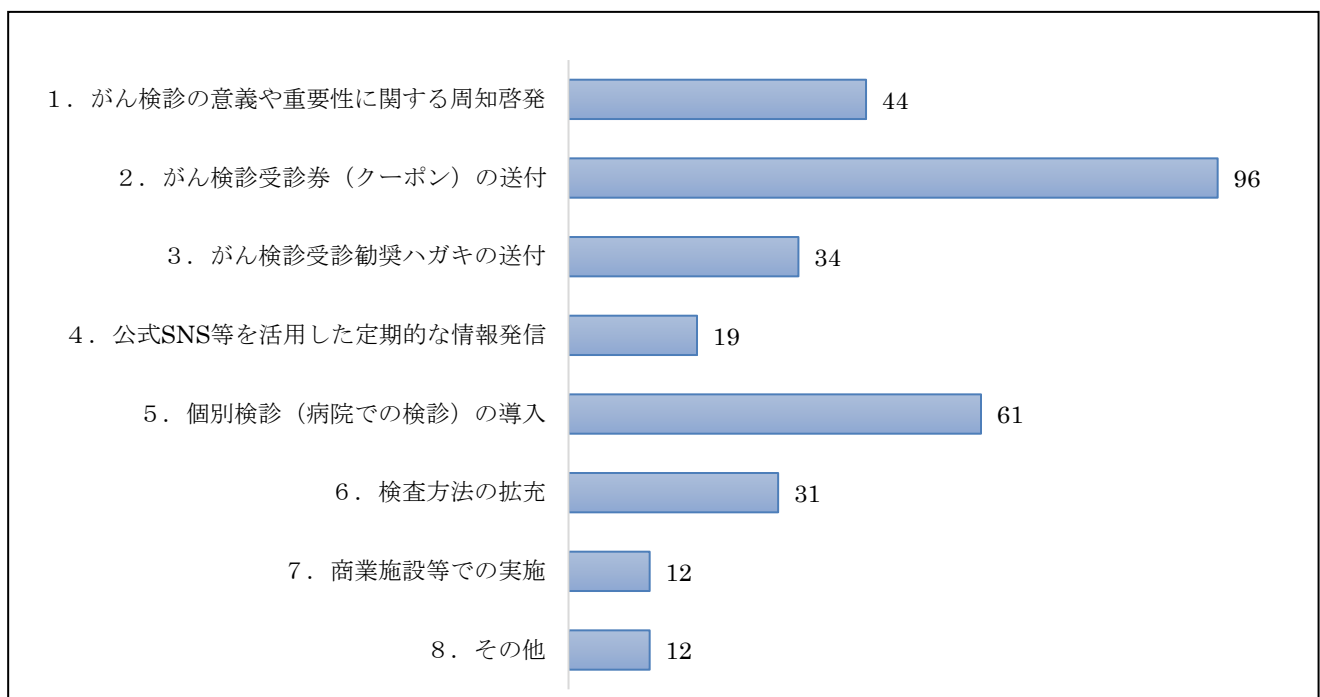
1. 心配なときは医療機関を受診するから	24人
2. 時間がとれないから	4人
3. 面倒だから	9人
4. 費用がかかるから	10人
5. 待ち時間が長いから	4人
6. 定期的に受ける必要性を感じないから	6人
7. 健康状態に自信があるから	6人
8. 医療機関にかかっているから	4人
9. 結果を見るのが怖いから	5人
10. 検査内容や方法がわからず不安だから	8人
11. 羞恥心など検査方法に抵抗を感じるから	4人
12. 対象年齢ではないため	3人
13. コロナ禍で受診を控えているから	3人
14. その他	6人



「1. 心配なときは医療機関を受診するから」(24人)、「4. 費用がかかるから」(10人)、「3. 面倒だから」(9人)などが、健診を受けない理由として多く挙げられています。

問11. どのようなサービスがあればがん検診を受けようと思いますか。(複数選択)

1. がん検診の意義や重要性に関する周知啓発	44人
2. がん検診受診券(クーポン)の送付	96人
3. がん検診受診勧奨ハガキの送付	34人
4. 公式SNS等を活用した定期的な情報発信	19人
5. 個別検診(病院での検診)の導入	61人
6. 検査方法の拡充	31人
7. 商業施設等での実施	12人
8. その他(→問12へ)	12人



「2. がん検診受診券(クーポン)の送付」(96人)、「5. 個別検診(病院での検診)の導入」(61人)、「1. がん検診の意義や重要性に関する周知啓発」(44人)などが、がん検診を受けようと思うサービスとして多く挙げられています。

問12. 問11で、「8. その他」を選んだ方にお聞きします。どのようなサービスがあればがん検診を受けようと思いますか。(自由記入)

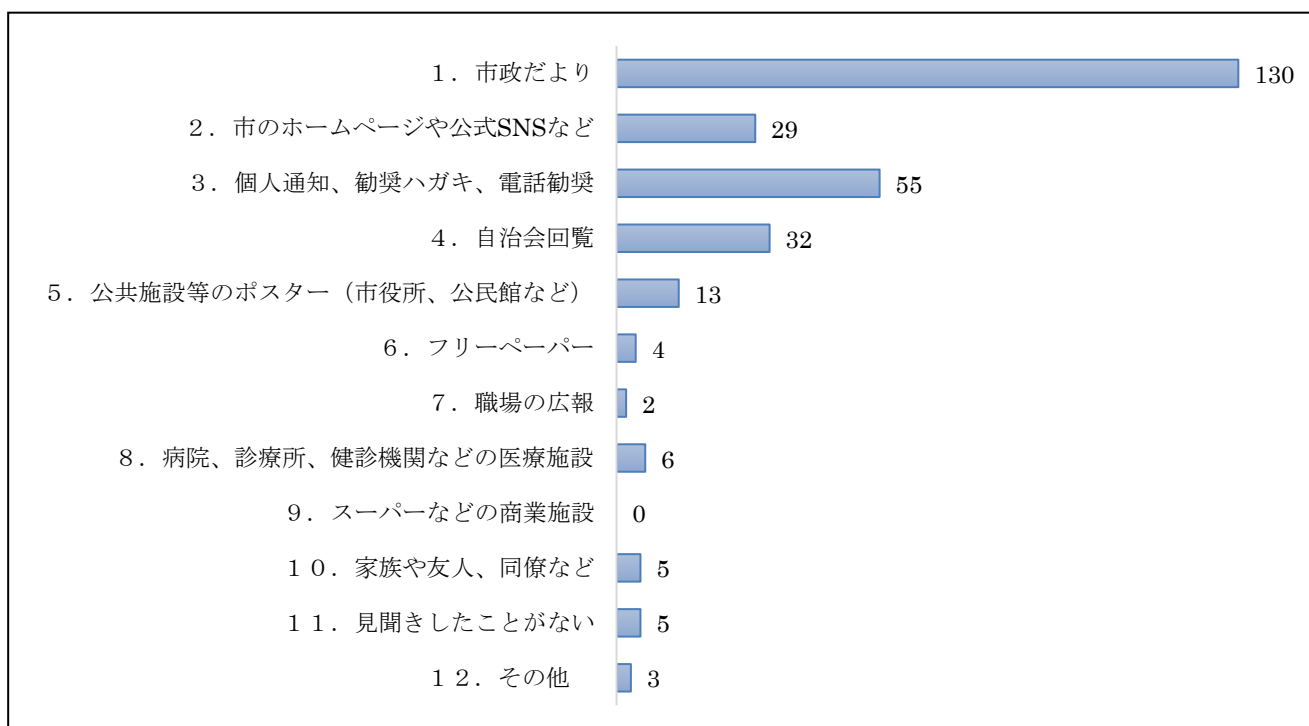
回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・市の乳がん検診は、マンモグラフィーですが、超音波も入れてほしいです。
- ・WEBから簡単に予約ができることを知らない人が多いのもっと啓蒙してほしいです。WEB予約とっても便利でした。
- ・検診を受けずに手遅れになった例や検診で早期発見、早期治療で大事に至らなかった例などの事例とその割合を示してほしいです。

- ・受けたい病院があるが、公的病院のため、今は忙しい様子。またコロナ禍で、県外に出入りしたという理由で断られている。公的病院で、ドックや検診部門を充実し、多少費用は掛かっても安心できるため、希望する病院で受けたい。
- ・ガンに特化した検診メニューが明確になっていてどこで・いくらで受けられるかわかれば受けたい。

問13. 市では市民の健康づくりを推進するため、集団健診を実施していますが、集団健診の情報をどこで得ていますか。(複数選択)

1. 市政だより	130人
2. 市のホームページや公式 SNS など	29人
3. 個人通知、勸奨ハガキ、電話勸奨	55人
4. 自治会回覧	32人
5. 公共施設等のポスター（市役所、公民館など）	13人
6. フリーペーパー	4人
7. 職場の広報	2人
8. 病院、診療所、健診機関などの医療施設	6人
9. スーパーなどの商業施設	0人
10. 家族や友人、同僚など	5人
11. 見聞きしたことがない	5人
12. その他	3人



「1. 市政だより」(130人)が、集団健診の情報を得る手段として最も多く挙げられています。他には、「3. 個人通知、勸奨ハガキ、電話勸奨」(55人)、「4. 自治会回覧」(32人)などが比較的多く挙げられています。

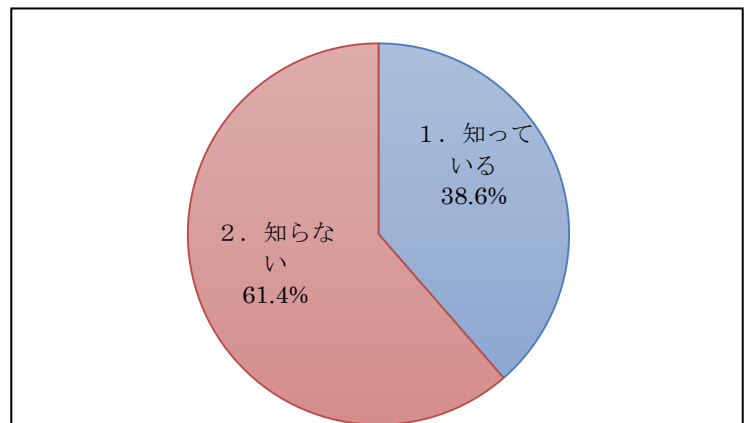
問14. 問13で、「12. その他」を選んだ方にお聞きします。集団健診の情報をどこで得ていますか。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・検査が簡単で苦痛が無いことを啓蒙するのがよい。
- ・あかがねポイントサービスを続けてほしいです。
- ・しんどい思いをして、その部位の少しの診断結果しか出ないので、市で検診を進めるなら、爪の先から脳の中まで無料や助成で受けられる検診プランを提案してほしい。

問15. 集団健診のWEB予約ができることを知っていますか。(1つ選択)

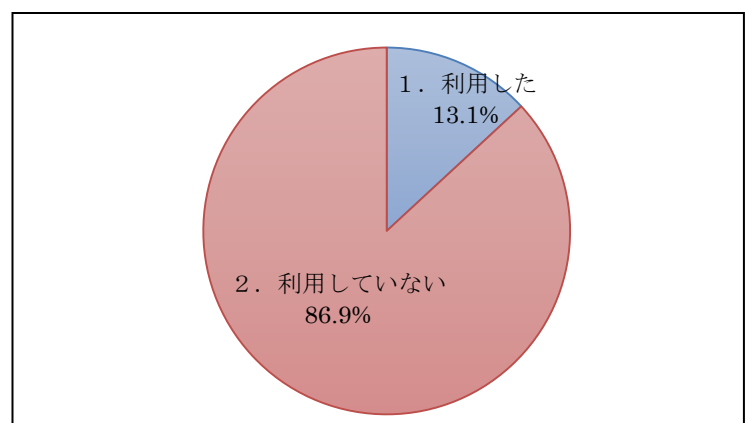
1. 知っている	61人
2. 知らない	97人
合計	158人



「2. 知らない」(61.4%)と答えた方が全体の半数を超えています。「1. 知っている」と答えた方は38.6%でした。

問16. 問15で、「1. 知っている」と答えた方にお聞きします。WEB予約を利用しましたか。(1つ選択)

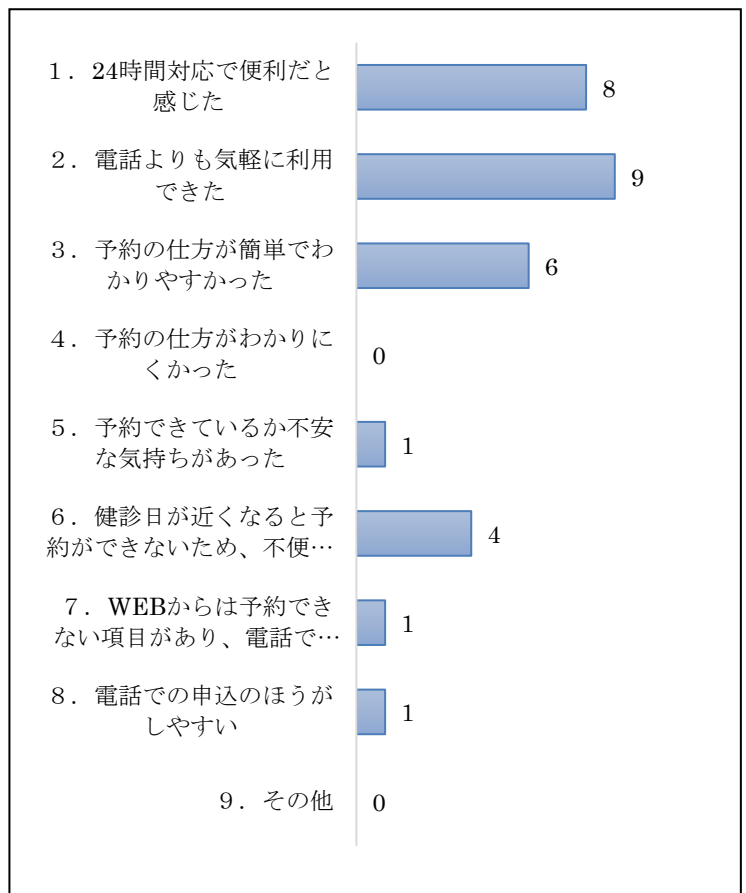
1. 利用した	8人
2. 利用していない	53人
合計	61人



「2. 利用していない」(86.9%)と答えた方が8割を超えています。WEB予約を知っており、利用したことがある人は全体の8人でした。

問17. 問16で、「1. 利用した」と答えた方にお聞きします。利用しての感想をお聞かせください。(複数選択)

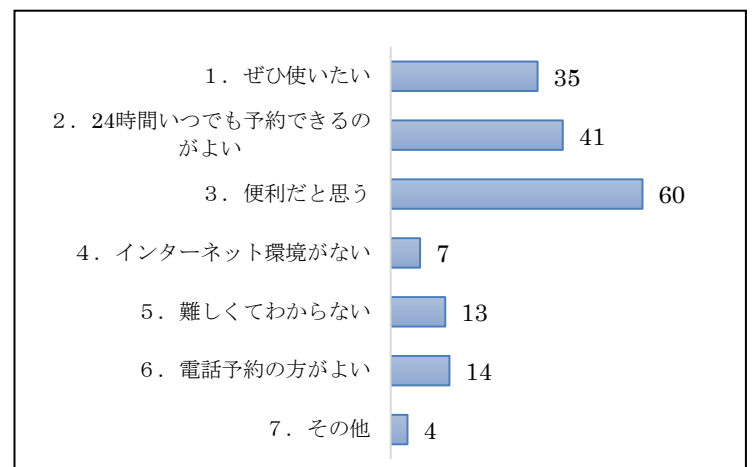
1. 24時間対応で便利だと感じた	8人
2. 電話よりも気軽に利用できた	9人
3. 予約の仕方が簡単でわかりやすかった	6人
4. 予約の仕方がわかりにくかった	0人
5. 予約できているか不安な気持ちがあった	1人
6. 健診日が近くなると予約ができないため、不便を感じた	4人
7. WEBからは予約できない項目があり、電話で申込をし直した	1人
8. 電話での申込のほうがしやすい	1人
9. その他	0人



最も多かった感想は「2. 電話よりも気軽に利用できた」(9人)で、その他、「1. 24時間対応で便利だと感じた」(8人)、「3. 予約の仕方が簡単でわかりやすかった」(6人)と答えた方が多く見られます。

問18. 問15で、「2. 知らない」と答えた方にお聞きします。集団健診のWEB予約についてどのように思いますか(複数選択)

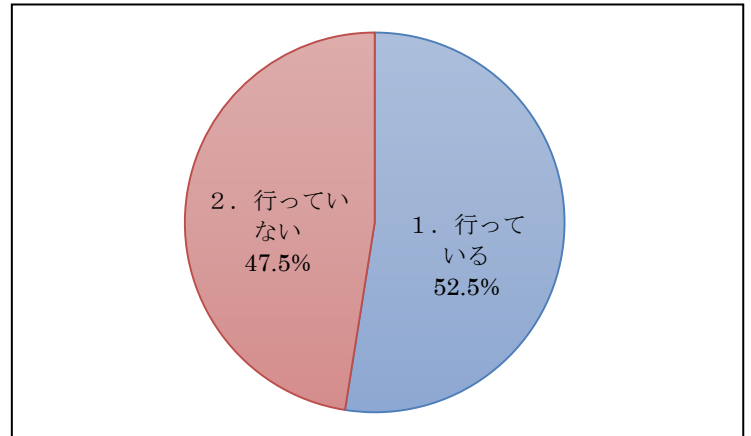
1. ぜひ使いたい	35人
2. 24時間いつでも予約できるのがよい	41人
3. 便利だと思う	60人
4. インターネット環境がない	7人
5. 難しくてわからない	13人
6. 電話予約の方がよい	14人
7. その他	4人



「3. 便利だと思う」(60人)と答えた方が多く、「2. 24時間いつでも予約できるのがよい」(41人)、「1. ぜひ使いたい」(35人)と好意的なご意見が多くみられました。

問19. あなたは1日延べ30分以上の運動を、週2回以上行っていますか。(1つ選択)

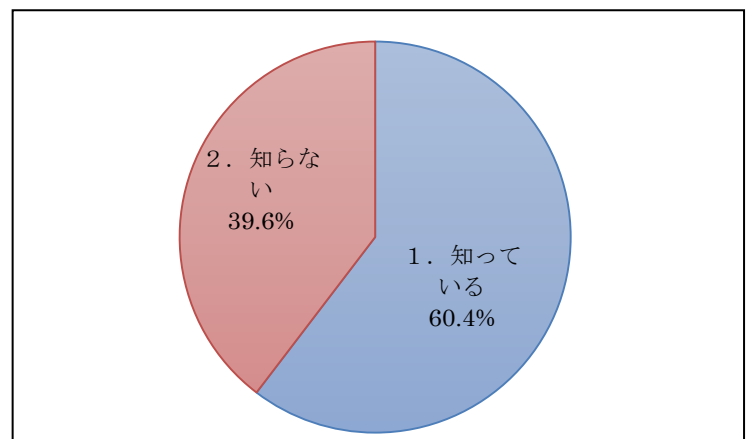
1. 行っている	84人
2. 行っていない	76人



定期的な運動を「1. 行っている」(52.5%)と答えた方がわずかに多く、半数を超えました。

問20. 一日の歩数が男性9,000歩、女性8,000歩(65歳以上は男性7,000歩、女性6,000歩)で生活習慣病予防に効果的であることをご存じですか。(1つ選択)

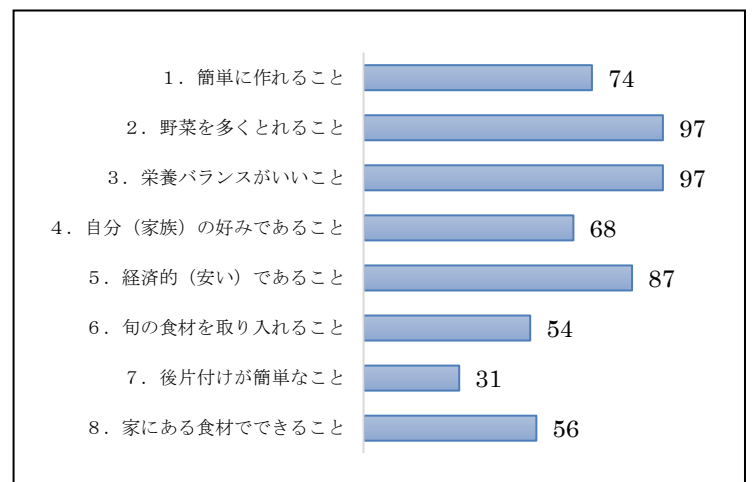
1. 知っている	96人
2. 知らない	63人



「1. 知っている」(60.4%)と答えた方が多く、「2. 知らない」(39.6%)と答えた方を上回りました。

問 2 1. 食事をする時（献立を決める時）に重要視することは何ですか。（1つ選択）

1. 簡単に作れること	74 人
2. 野菜を多くとれること	97 人
3. 栄養バランスがいいこと	97 人
4. 自分（家族）の好みであること	68 人
5. 経済的（安い）であること	87 人
6. 旬の食材を取り入れること	54 人
7. 後片付けが簡単なこと	31 人
8. 家にある食材でできること	56 人



「2. 野菜を多くとれること」（97人）及び「3. 栄養バランスがいいこと」（97人）と答えた方が最も多く、次いで「5. 経済的（安い）であること」（87人）、「1. 簡単に作れること」（74人）の順となっています。

問 2 2. その他、健診等に関するご意見、ご要望がありましたら、ご記入ください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・市のガン検診の胃ガン検診がカメラ検査で無料なら受診します。
- ・市の健診を毎年受診し、自分の健康のバロメーターにしているが大変ありがたいです。
- ・男女でけんしん車をわけてほしい。
- ・WEB予約も若い世代にはいいかもしれないが年配の人にはどうかと思うのでWEBだけの予約にはせず、電話、又は手紙（ハガキ）・WEBといくつかの選択はあってほしいと思います。
- ・健診を受けた後の結果が送付されてきますが結果が気になるのではやくすっきりしたいため、もう少し早く結果を送付できたらよいと思います。
- ・骨粗鬆症の予約は回数と人数が少なく、3カ月前の予約でもう定員に達しています。それだけ希望者が多いということだと思うが、回数を増やすことはできないでしょうか。
- ・WEB予約は1カ月前の受付けではなく1年間にすべきではないかと思います。個別健診でも貧血検査や心電図検査が受けられると個別健診も増えると思います。
- ・貧血、心電図、眼底検査がないのは残念です。
- ・今回の健診は、コロナの為か人数制限で待ち時間があまりなく、スムーズで助かりました。この方法なら毎回受けたいです。
- ・痛くない注射とかなら受けると思います。他の痛い検査はイヤ。それが嫌で健診は受けません。
- ・健康レシピについて、クックパッドにレシピを掲載されているのを見ました。インスタも活用してほしい。
- ・広報のやり方に大いに問題を感じる。目的達成できているのか一度検証する必要があるでしょう。
- ・若い世代の人にはインスタやLINEの情報が有効と感じるのでどんどん情報発信してほしい。
- ・がん検診に積極的に参加したい人もいれば、面倒くさい、怖いなどいろいろな理由であまり行きたくないと思っている人もいます。無料のクーポンと、その検診について興味を持つようなパンフレットを送ってくださるとそれまで興味がなかった人も無料だし、内容も知ることができれば行ってみようかと思うのではない

かと思えます。

・行政が、保健指導の最初の窓口として、病院の一角を借りて、待ち時間に希望する市民に健康相談（主に運動や食生活）をすれば、医療費の削減につながると思う。病院は、人がいないため、そこに人的資源を避けない。新居浜市も独自に部署を作り、パートなど兼業の看護職員を集め、PPK体操をしている公民館や高齢者センターなど出張講座をしてもよいと思う。

<まとめ>

日本人の平均寿命は令和元年度の統計によりますと、男性81.41歳、女性87.45歳と長寿国である一方、健康的に生活を送ることができる健康寿命は、男性72.68歳、女性75.38歳であり、この平均寿命と健康寿命の差が介護等を必要とする期間と位置づけられております。

この差を縮小し、本市の健康寿命の延伸を実現するためには、若い世代からの健康意識の向上や、生活習慣病等の早期発見、早期治療を目的とした特定健診及び各種がん検診等の受診率向上が重要であることから、新居浜市民の健康意識や受診行動についてのアンケート調査を行いました。

まず、全体の84%が毎年健康診査（血液検査）を受診しており、職業別で見ると常勤者の方が100%受診しています。一方で過去健康診査を受診したことがないと答えた人は約7%で、自営業、農林漁業、アルバイト、パート、専業主婦（主夫）の方でした。次に、年1回ないし2年に1回がん検診を受診していると答えた人は全体の約5割で、職業別では無職、自営業、農林漁業、専業主婦（主夫）の順に高い状況でした。

がん検診を受けた理由として、『早期発見だと治りが早いから』、『がん検診の対象年齢だから』、『生活習慣病にかかりやすい年齢になったから』、『健診項目にがん検診があったから』、『費用が無料だった』等の回答が多く、健康づくりへの関心の高さが伺えました。またがん検診を受けなかった理由としては、『必要なときは医療機関を受診するから』、『費用がかかるから』、『面倒だから』、『検査内容や方法がわからず不安だから』、『定期的に受ける必要性を感じない』等の回答がありました。

集団健診のWEB予約につきましては、知っていると答えた人が約4割で、うち利用した人は13%と低く、24時間対応で操作も簡単で便利な反面、健診日が近くなると予約できず不便との意見がありました。WEB予約を知らないと答えた約6割の人が『いつでも予約でき便利でぜひ利用したい』と肯定的な意見が多かったので、利便性の向上を図るとともに、周知啓発に努めてまいります。

今後は職場健診を受ける機会のない方へ、本市の健康課題や特定健診及びがん検診の重要性など正しい知識の普及啓発に努めるとともに、コロナ禍において安心安全に健診を受診しやすい体制づくりを進め、健診受診率の向上を目指してまいります。また健康長寿のまちづくりを実現するために、地域や学校、職域等と連携し、生涯を通じた運動や食育等の取組を推進してまいります。

今回のアンケートへご回答、貴重なご意見をいただいた市政モニターの皆さまには、心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。（担当課：保健センター、国保課）

テーマ④ 新居浜市環境基本計画について

【調査趣旨】

本市では新居浜市環境基本条例第8条第1項の規定に基づき、新居浜市環境基本計画を策定しています。第2次の計画の期間は平成26年4月1日から令和6年3月31日であるため、令和6年4月1日から令和16年3月31日までの期間を対象とした第3次の計画を策定する予定ですが、策定に当たり、第2次の計画に関する認識や御意見、また、第3次の計画に関する御要望等について幅広い世代の方の御意見を参考にしたいと考えております。

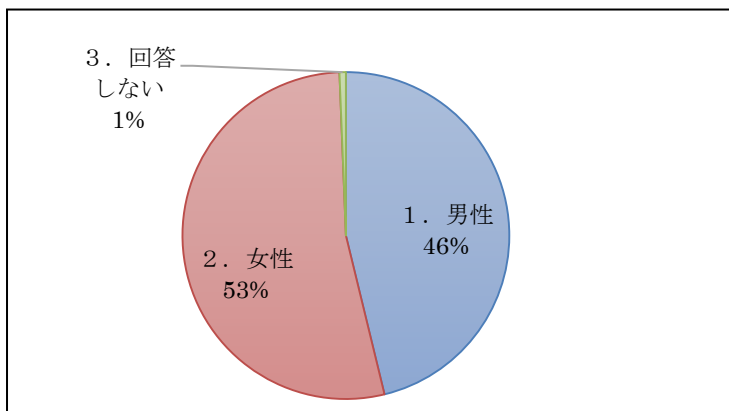
今回のアンケートでいただいた意見を集約し、本市の地域特性に即した第3次環境基本計画の策定に活用していきたいと考えています。

(担当課：カーボンニュートラル推進室)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

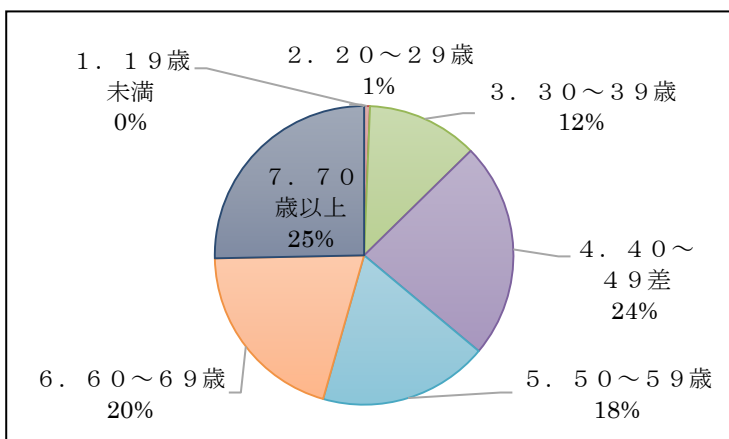
問2. あなたの性別は？（1つ選択）

1. 男性	73 人
2. 女性	84 人
3. 回答しない	1 人
合計	158 人



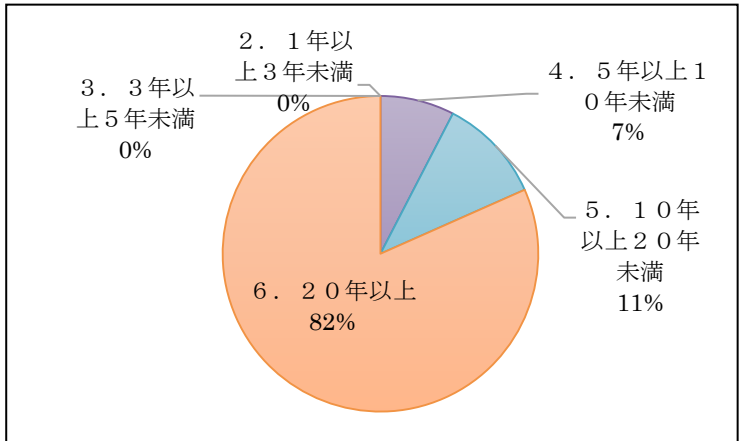
問3. あなたの年齢は？（1つ選択）

1. 19歳未満	0 人
2. 20～29歳	1 人
3. 30～39歳	19 人
4. 40～49歳	37 人
5. 50～59歳	29 人
6. 60～69歳	32 人
7. 70歳以上	40 人



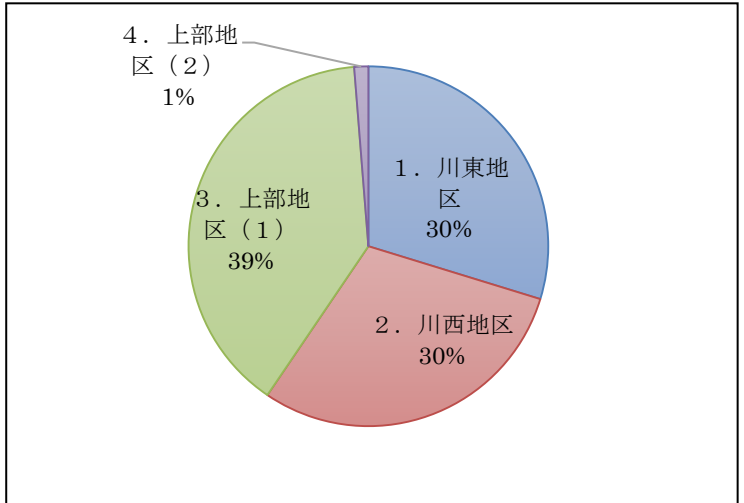
問4. あなたが新居浜市にお住まいの期間についてお答えください。(1つ選択)

1. 1年未満	0人
2. 1年以上3年未満	0人
3. 3年以上5年未満	0人
4. 5年以上10年未満	12人
5. 10年以上20年未満	17人
6. 20年以上	129人



問5. あなたがお住まいの地区はどちらですか。(1つ選択)

1. 川東地区 (高津小学校、浮島小学校、垣生小学校、神郷小学校、多喜浜小学校)	47人
2. 川西地区 (惣開小学校、金栄小学校、新居浜小学校、宮西小学校、金子小学校)	47人
3. 上部地区(1) (中萩小学校、大生院小学校、泉川小学校、船木小学校、角野小学校)	62人
4. 上部地区(2) (別子小学校)	2人



問6. あなたが大切にしたい、又は残しておきたい環境、場所、風景、風習などをお書きください。また、その理由も簡単にお書きください。(自由記入)

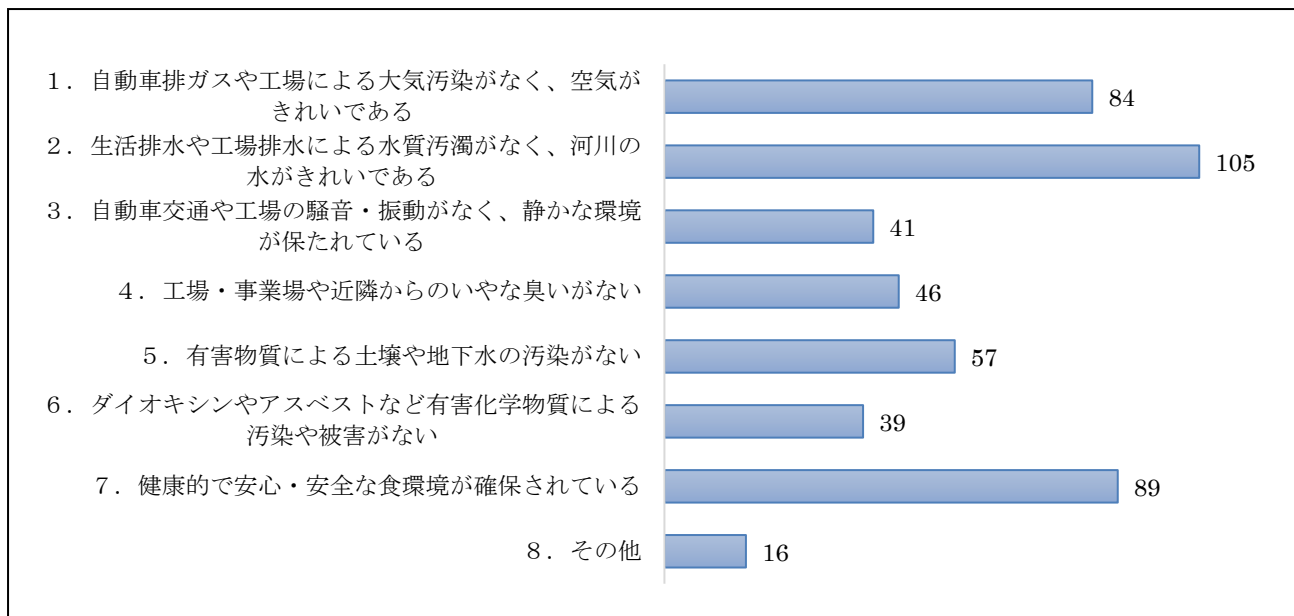
回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・別子山や新居浜にある山道
- ・マイントピア別子-東平 (東洋のマチュピチュ)。新居浜の歴史を感じる。
- ・垣生山の自然。整備が充実していてハイキングコースに最適である。四季折々の季節が感じられる。
- ・とうどさん
- ・新居浜太鼓祭り
- ・別子銅山関連施設：旧端手場水力発電所、マイントピア別子、住友山田住宅、広瀬歴史記念館、別子記念館、山根グランド観覧席 (石積)、坑道跡 新居浜市の発展・歴史に大きな影響があった所だから。
- ・田んぼ、蜚
- ・東川のほたる祭り
- ・別子ライン
- ・えんとつ山。新居浜のシンボリックな景色だから

- ・新居浜の奥座敷、別子山です。100年の計によって残された自然環境、新居浜の愛媛の四国の軽井沢です。別子銅山最古の製錬所跡にはダイヤモンド水、別子のじゃがいもは日本一美味しい！
- ・垣生公民館クリスマスイルミネーション
- ・河川敷から見た山の景色
- ・船木のかぶと踊り
- ・滝の宮公園
- ・枚方橋の上から山側を見た景色
- ・うずい川。川を見ながら通学している子供たち、山も綺麗で自然と関われる環境はこれからも大事にしたい。
- ・黒島海浜公園と大島：昔からの海岸を感じられ、是非、保存していただきたい。
- ・星越からみる工場夜景。
- ・多喜浜のソテツ。塩づくりが盛んだったことを知らない人が多い。かしょい文化は本当に素晴らしいので忘れず広がってほしい。
- ・大島への渡海船、大島周遊道路
- ・ツガザクラ
- ・大永山から見る樹氷。
- ・滝の宮公園。子供のころから親しんだ公園で、今も大変人気がある。遊歩道からのアクセスや、基幹道路からのアクセスも良く、遊具もきれいになっている。予算が難しいかもしれないが、動物がいたころはもっと良かったし、池に有料のボートがあったころも、非常に良かったです。

問7. 「暮らしを大切にすまち」であるためには、どのようなことが重要だと思いますか。(3つまで選択)

1. 自動車排ガスや工場による大気汚染がなく、空気がきれいである	84人
2. 生活排水や工場排水による水質汚濁がなく、河川の水がきれいである	105人
3. 自動車交通や工場の騒音・振動がなく、静かな環境が保たれている	41人
4. 工場・事業場や近隣からのいやな臭いがない	46人
5. 有害物質による土壌や地下水の汚染がない	57人
6. ダイオキシンやアスベストなど有害化学物質による汚染や被害がない	39人
7. 健康的で安心・安全な食環境が確保されている	89人
8. その他	16人



「2. 生活排水や工場排水による水質汚濁がなく、河川の水がきれいである」(105人)と答えた方が最も多く、次いで「7. 健康的で安心・安全な食環境が確保されている」(89人)、「1. 自動車排ガスや工場による大気汚染がなく、空気がきれいである」(84人)の順に多い結果となりました。

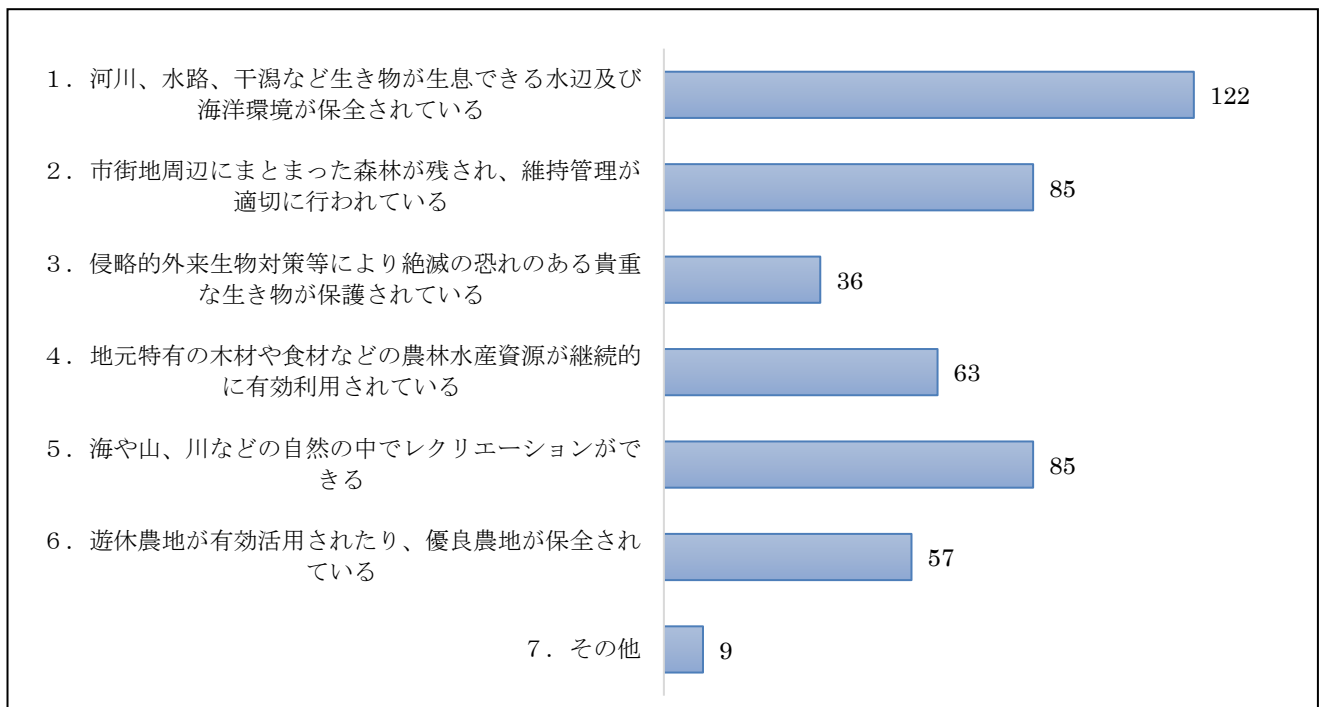
問8. 問7で「8. その他」を選択された方にお尋ねします。具体的な内容をお書きください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・人と動物の共存（飼育に関しての無知や多頭崩壊、飼育放棄が目につきすぎる）
- ・交通の便がよい町
- ・市内の企業との繋がりや歴史を後世に伝え、企業と生活の共存を大切にしたい。
- ・二酸化炭素などの温室効果ガスを少なくして温暖化防止に努める。
- ・安心安全な水道管理
- ・工場や事業所の騒音や有害排出ガス及び水質は環境基準で規制されていますが、遊休農地や手入れの無い空地及び廃屋並びに空家の雑草からの、害虫発生等は都市計画法の線引きの無いまちの景観や、生活環境は改善すべきと考えます。

問9. 「自然を大切にすまち」であるためには、どのようなことが重要だと思いますか。(3つまで選択)

1. 河川、水路、干潟など生き物が生息できる水辺及び海洋環境が保全されている	122人
2. 市街地周辺にまとまった森林が残され、維持管理が適切に行われている	85人
3. 侵略的外来生物対策等により絶滅の恐れのある貴重な生き物が保護されている	36人
4. 地元特有の木材や食材などの農林水産資源が継続的に有効利用されている	63人
5. 海や山、川などの自然の中でレクリエーションができる	85人
6. 遊休農地が有効活用されたり、優良農地が保全されている	57人
7. その他	9人



「1. 河川、水路、干潟など生き物が生息できる水辺及び海洋環境が保全されている」（122人）が、「自然を大切にすまち」であるために重要なこととして最も多く選択されました。その他には、「2. 市街地周辺にまとまった森林が残され、維持管理が適切に行われている」（85人）、「5. 海や山、川などの自然の中でレクリエーションができる」（85人）などが多くなっています。

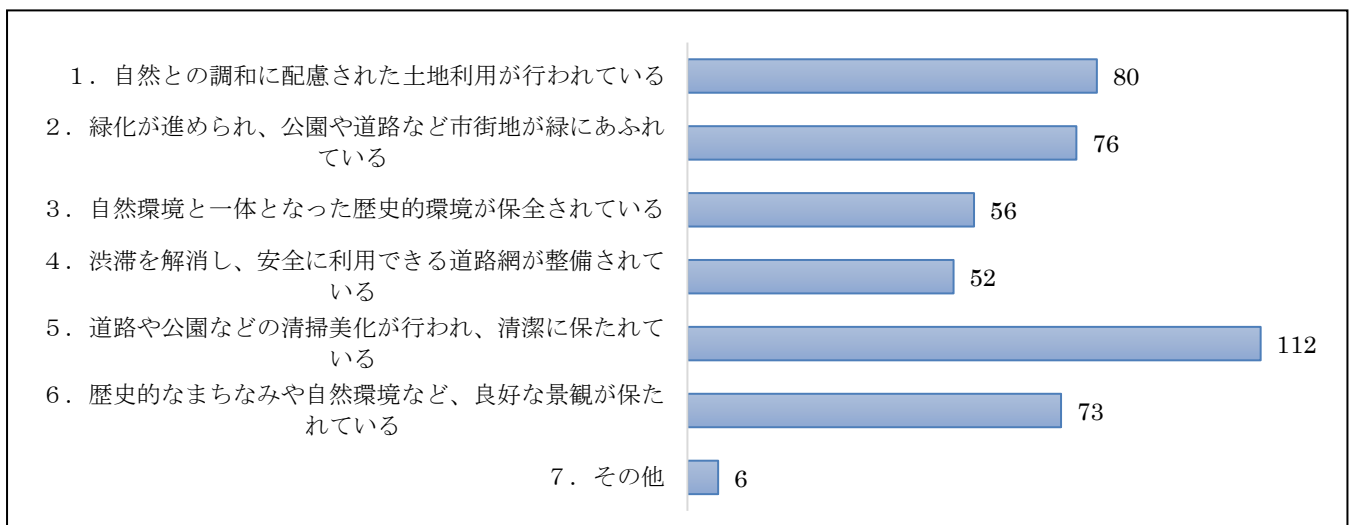
問10. 問9で「7.その他」を選択された方にお尋ねします。具体的な内容をお書きください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・自然の中で子供が学べる環境整備
- ・尻無川の両岸。斜面の草木の刈り取りと川床の整備を望む。
- ・1～6まで全て重要と思われます。3つを選ぶことができません。
- ・ゆるゆる体操
- ・メガソーラー廃止、撤去
- ・自然の中で子供たちやその家族が集える空間や施設の拡充が必要。一例としてマリンパークの様なキャンプ場を林間でも作り、新居浜の海や山で自然を体感できるようにしてほしいです。
- ・郊外においては、雄大な自然が残り、市街地においては、ちょっとした緑の場所が適度に点在している。
- ・公園、学校等の公共施設及び河川、池、海岸等において、そこにある自然の樹木、花等の維持管理が適切に行われる。

問11. 「町並みを大切にすまち」であるためには、どのようなことが重要だと思いますか。(3つまで選択)

1. 自然との調和に配慮された土地利用が行われている	80人
2. 緑化が進められ、公園や道路など市街地が緑にあふれている	76人
3. 自然環境と一体となった歴史的環境が保全されている	56人
4. 渋滞を解消し、安全に利用できる道路網が整備されている	52人
5. 道路や公園などの清掃美化が行われ、清潔に保たれている	112人
6. 歴史的なまちなみや自然環境など、良好な景観が保たれている	73人
7. その他	6人



「5. 道路や公園などの清掃美化が行われ、清潔に保たれている」(112人)が、「町並み大切にすまち」であるために重要なこととして最も多く選択されました。その他には、「1. 自然との調和に配慮された土地利用が行われている」(80人)、「2. 緑化が進められ、公園や道路など市街地が緑にあふれている」(76人)などが多くなっています。

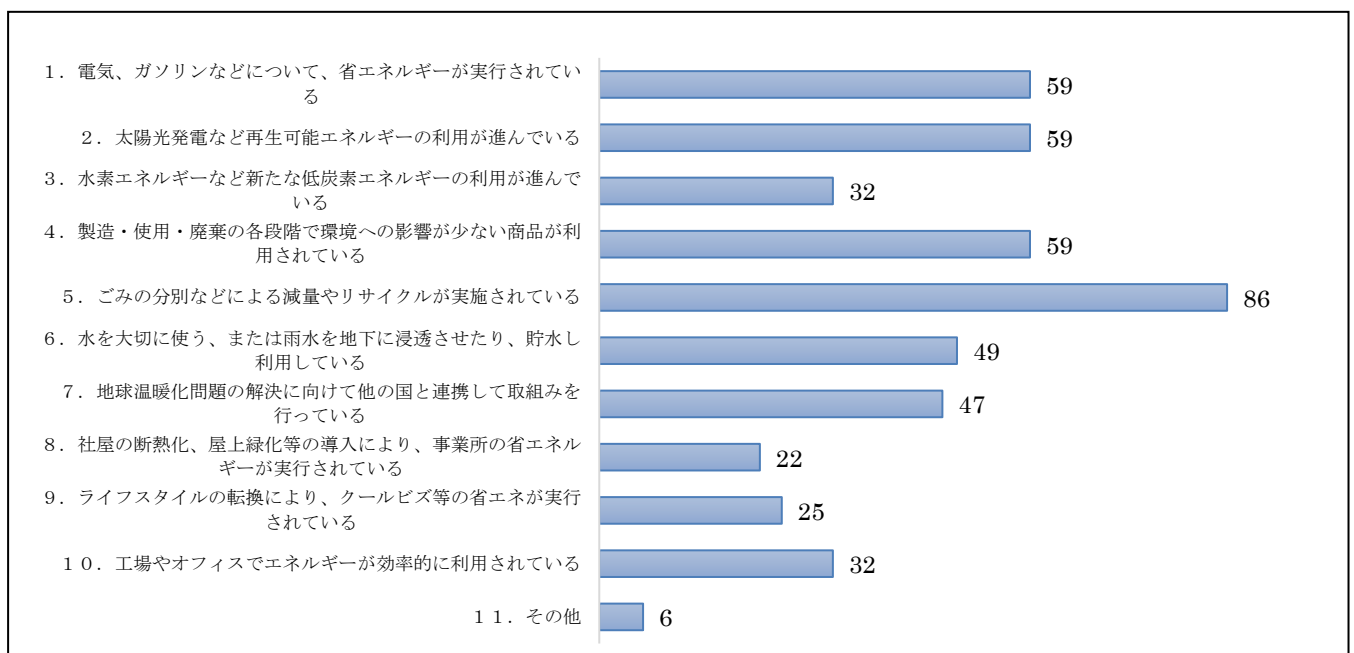
問12. 問11で「7.その他」を選択された方にお尋ねします。具体的な内容をお書きください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・区画等の整備 (火災に対応できるまち)
- ・家屋の解体が出来ないのか、放置されているのは、美観により見苦しいです。
- ・統一感がない、貧相な住宅街、廃屋が目立つ、電線が汚い。ある程度の規制も必要ではないか。
- ・電線地下埋設の範囲を広げて町中から電柱と電線を無くし広い空と災害時の安全を確保したい。

問13. 「資源・エネルギーを大切にすまち」「かけがえのない地球を大切にすまち」であるためには、どのようなことが重要だと思いますか。(3つまで選択)

1. 電気、ガソリンなどについて、省エネルギーが実行されている	59人
2. 太陽光発電など再生可能エネルギーの利用が進んでいる	59人
3. 水素エネルギーなど新たな低炭素エネルギーの利用が進んでいる	32人
4. 製造・使用・廃棄の各段階で環境への影響が少ない商品が利用されている	59人
5. ごみの分別などによる減量やリサイクルが実施されている	86人
6. 水を大切に使う、または雨水を地下に浸透させたり、貯水し利用している	49人
7. 地球温暖化問題の解決に向けて他の国と連携して取組みを行っている	47人
8. 社屋の断熱化、屋上緑化等の導入により、事業所の省エネルギーが実行されている	22人
9. ライフスタイルの転換により、クールビズ等の省エネが実行されている	25人
10. 工場やオフィスでエネルギーが効率的に利用されている	32人
11. その他	6人



「5. ごみの分別などによる減量やリサイクルが実施されている」(86人)が、「資源・エネルギーを大切にすまち」「かけがえのない地球を大切にすまち」であるために重要なこととして最も多く選択されました。その他には、「1. 電気、ガソリンなどについて、省エネルギーが実行されている」(59人)、「2. 太陽光発電など再生可能エネルギーの利用が進んでいる」(59人)、「4. 製造・使用・廃棄の各段階で環境への影響が少ない商品が利用されている」(59人)などが多くなっています。

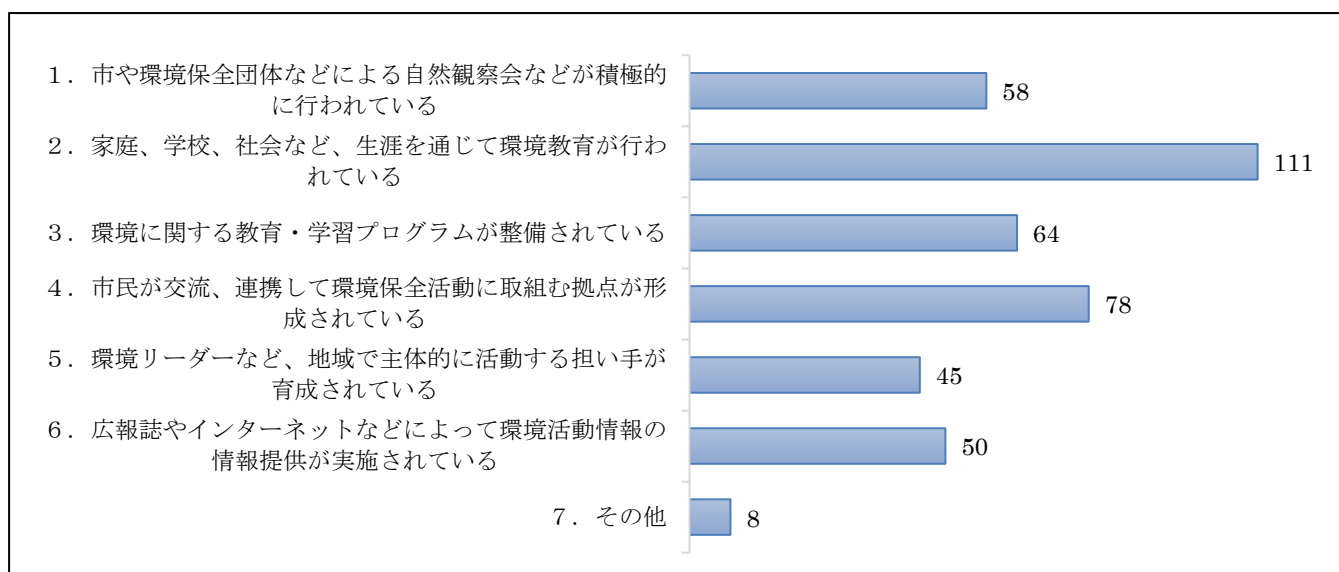
問14. 問13で「11.その他」を選択された方にお尋ねします。具体的な内容をお書きください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・マイナス物のクリーン化
- ・ゼロエミッションと電子の融合する町
- ・現状では1～10全てが必要欠くべからざる対策でしょう。できることはやるべきだと思います。
- ・環境に配慮した生活をしている、またはしようとしている人や会社への補助制度の充実。
- ・市内を通る車両は排ガスが少ない車両であること。

問15. 「人を大切にすまち（環境教育・学習の推進）」であるためには、どのようなことが重要だと思いますか。（3つまで選択）

1. 市や環境保全団体などによる自然観察会などが積極的に行われている	58人
2. 家庭、学校、社会など、生涯を通じて環境教育が行われている	111人
3. 環境に関する教育・学習プログラムが整備されている	64人
4. 市民が交流、連携して環境保全活動に取り組む拠点が形成されている	78人
5. 環境リーダーなど、地域で主体的に活動する担い手が育成されている	45人
6. 広報誌やインターネットなどによって環境活動情報の情報提供が実施されている	50人
7. その他	8人



「2. 家庭、学校、社会など、生涯を通じて環境教育が行われている」（111人）が、「人を大切にすまち（環境教育・学習の推進）」であるために重要なこととして最も多く選択されました。その他には、「4. 市民が交流、連携して環境保全活動に取り組む拠点が形成されている」（78人）、「3. 環境に関する教育・学習プログラムが整備されている」（64人）などが多くなっています。

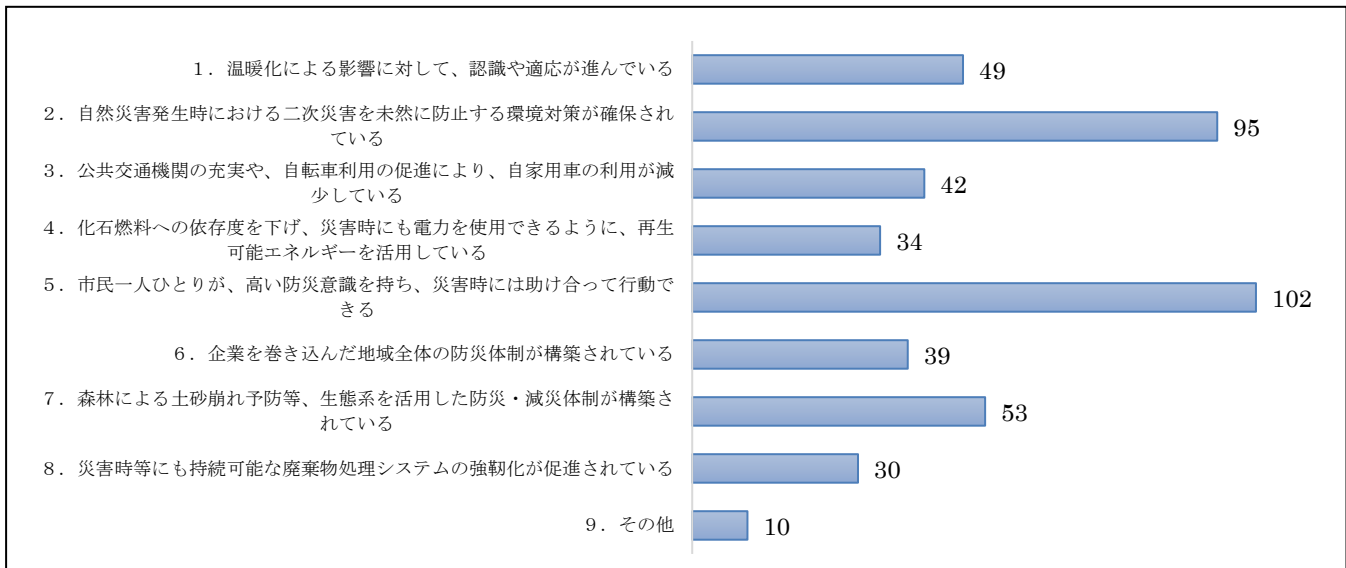
問16. 問15で「7.その他」を選択された方にお尋ねします。具体的な内容をお書きください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・自然についてはトラッキングを頻繁に行う
- ・普段から子供に対しての挨拶活動を通して雑談からの学び
- ・企業関係の環境破壊を規制することが重要
- ・地域教育の中でも社会教育の遅れが目立ちます。人の人権や環境教育の恒常的改革と推進が必要と思われます。
- ・新居浜市での教育現場で、環境問題と、給食のことがごったになっている。給食は楽しくゆっくり食べる分だけ食べる、が基本。給食に時間が十分に取れない状況で、結果的に残食ができる、とか、思春期の女の子がお代わりと言にくい雰囲気をつくす、とか、残食をなくす方法は他にあるのでそこを一緒にしてしまわない学校教育をしてほしい。

問17. 「安全・安心に暮らせるまち」であるためには、どのようなことが重要だと思いますか。
(3つまで選択)

1. 温暖化による影響に対して、認識や適応が進んでいる	49人
2. 自然災害発生時における二次災害を未然に防止する環境対策が確保されている	95人
3. 公共交通機関の充実や、自転車利用の促進により、自家用車の利用が減少している	42人
4. 化石燃料への依存度を下げ、災害時にも電力を使用できるように、再生可能エネルギーを活用している	34人
5. 市民一人ひとりが、高い防災意識を持ち、災害時には助け合って行動できる	102人
6. 企業を巻き込んだ地域全体の防災体制が構築されている	39人
7. 森林による土砂崩れ予防等、生態系を活用した防災・減災体制が構築されている	53人
8. 災害時等にも持続可能な廃棄物処理システムの強靱化が促進されている	30人
9. その他	10人



「5. 市民一人ひとりが、高い防災意識を持ち、災害時には助け合って行動できる」(102人)が、「安全・安心に暮らせるまち」であるために重要なこととして最も多く選択されました。その他には、「2. 自然災害発生時における二次災害を未然に防止する環境対策が確保されている」(95人)が多くなっています。

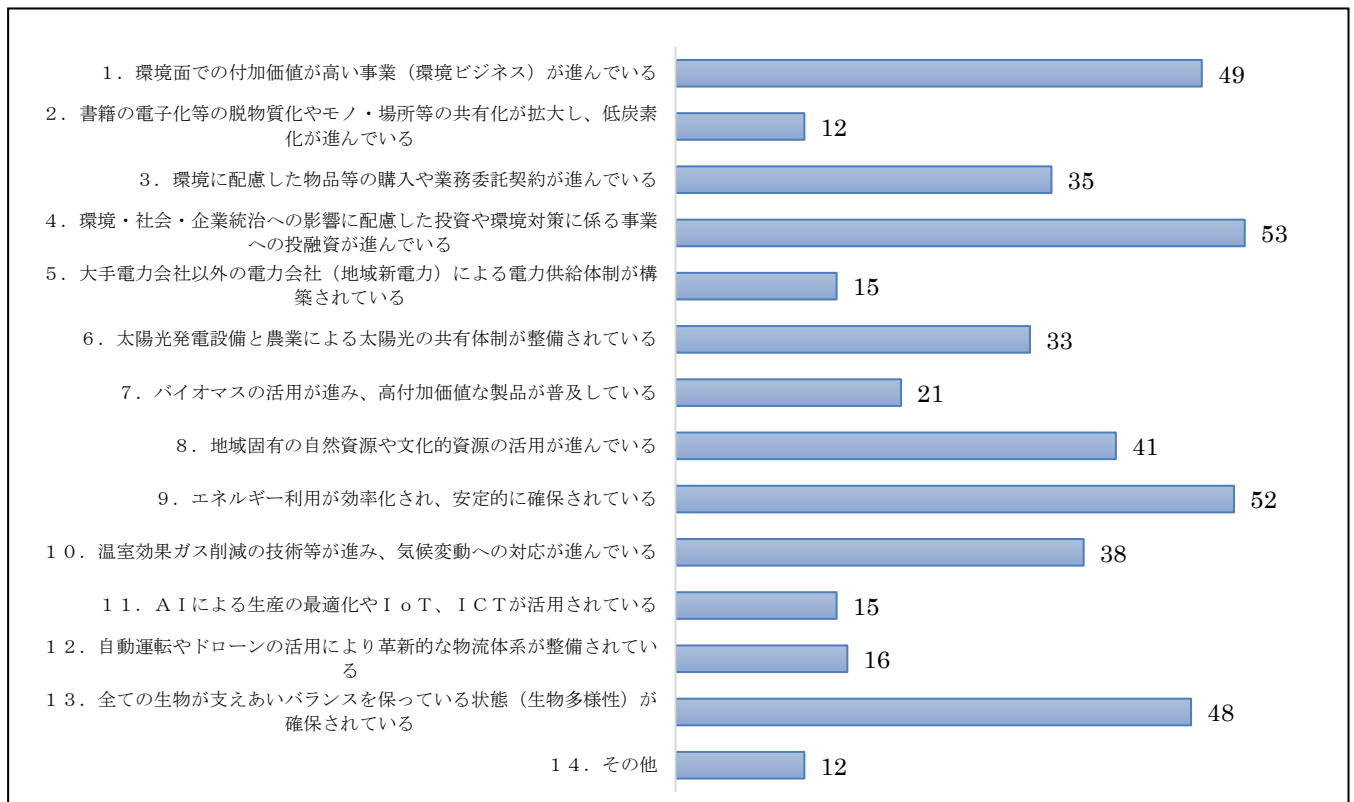
問18. 問17で「9.その他」を選択された方にお尋ねします。具体的な内容をお書きください。
(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・今一度のルールの徹底化（年齢を問わず）
 - ・コミュニティーの活性化にもっと資金を。連合でなく単位自治会へ。
 - ・農業と食の拡充
 - ・コンパクトな市街地をめざし、危険地帯からの移転を推進する。
 - ・災害時であろうとなかろうと、警察に頼らない犯罪の未然防止策が備わっていること
 - ・高齢者の車の運転は本当に危険な状態にある人が目につく。
- 注意力や判断力など、個人差が大きいので、免許更新時や教習所での高齢者講習の際に、明らかに心配な人の場合、免許を取り上げて欲しい。その代わりに、税金や車検、ガソリン代などの維持費や事故のリスクと比べて、そう高額でないと周知して欲しい。買い物などはスーパーの宅配を利用し、その他の移動はタクシーやバスなどを利用してほしい。
- ・子供が小学校時代、毎朝の登校時に高齢の方々の見守り隊の方々の存在に助けられた。このような市民の行動が安心・安全な街づくりに欠かせず必要と思う。

問19. 「持続可能なまち」であるためには、どのようなことが重要だと思いますか。（3つまで選択）

1. 環境面での付加価値が高い事業（環境ビジネス）が進んでいる	49人
2. 書籍の電子化等の脱物質化やモノ・場所等の共有化が拡大し、低炭素化が進んでいる	12人
3. 環境に配慮した物品等の購入や業務委託契約が進んでいる	35人
4. 環境・社会・企業統治への影響に配慮した投資や環境対策に係る事業への投融資が進んでいる	53人
5. 大手電力会社以外の電力会社（地域新電力）による電力供給体制が構築されている	15人
6. 太陽光発電設備と農業による太陽光の共有体制が整備されている	33人
7. バイオマスの活用が進み、高付加価値な製品が普及している	21人
8. 地域固有の自然資源や文化的資源の活用が進んでいる	41人
9. エネルギー利用が効率化され、安定的に確保されている	52人
10. 温室効果ガス削減の技術等が進み、気候変動への対応が進んでいる	38人
11. AIによる生産の最適化やIoT、ICTが活用されている	15人
12. 自動運転やドローンの活用により革新的な物流体系が整備されている	16人
13. 全ての生物が支えあいバランスを保っている状態（生物多様性）が確保されている	48人
14. その他	12人



「4. 環境・社会・企業統治への影響に配慮した投資や環境対策に係る事業への投融資が進んでいる」（53人）及び「9. エネルギー利用が効率化され、安定的に確保されている」がほぼ同数で「持続可能なまち」であるために重要なこととして多く選択されました。その他には、「1. 環境面での付加価値が高い事業（環境ビジネス）が進んでいる」（49人）、「13. 全ての生物が支えあいバランスを保っている状態（生物多様性）が確保されている」（48人）が多くなっています。

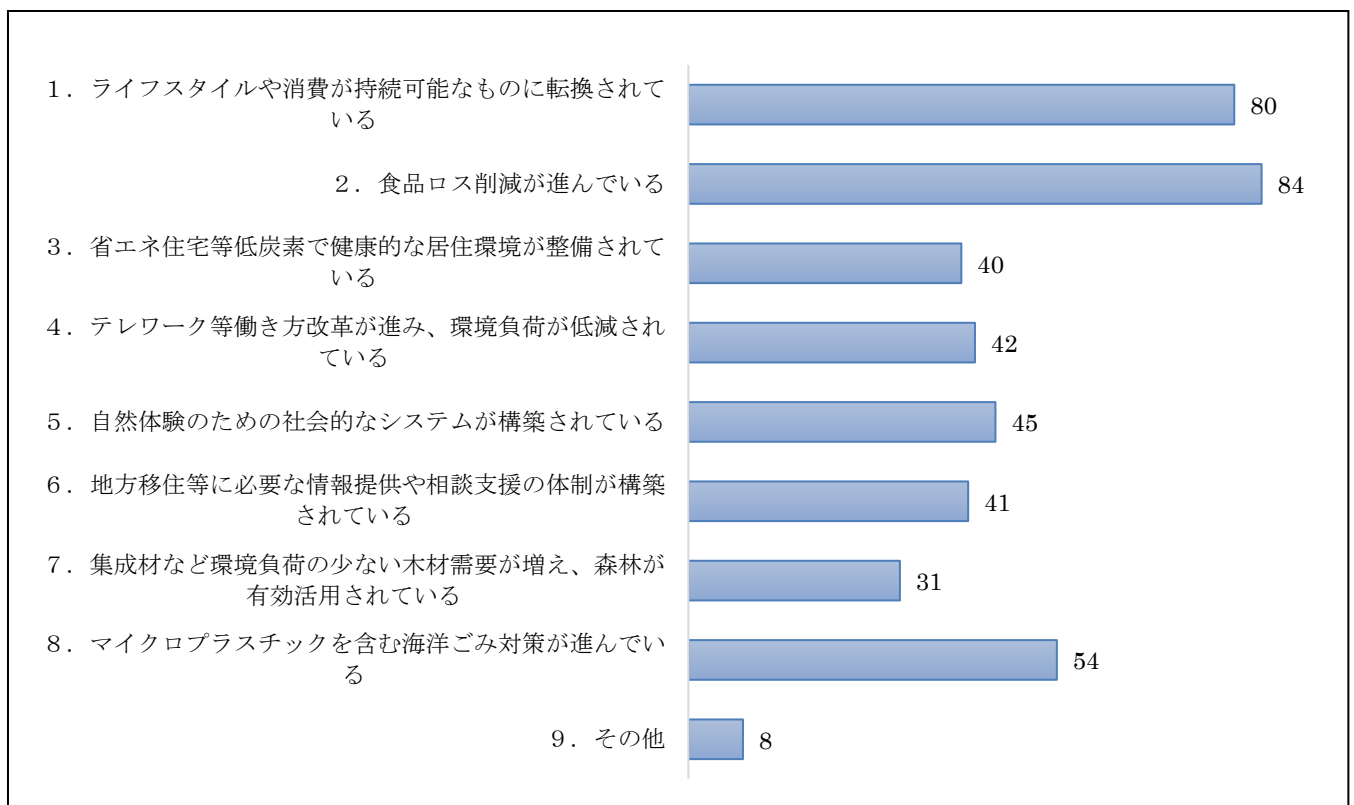
問20. 問19で「14. その他」を選択された方にお尋ねします。具体的な内容をお書きください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・港を作り、物流の拠点として発展していくことがこれから新居浜市にとって重要だと思いますが、できるかどうかはわかりません。
- ・学校教師の定員増が必要
- ・人が住みたいと思える街づくり。気候や自然はもともと豊かであるので、経済活動と自然保全のバランスが重要と思う。
- ・持続可能な街作りに対する人の意識を高めることが重要であり、そのような環境を整えることが第一歩だと思う。
- ・雇用が安定している。若者が就職できる環境。
- ・行政側が企業側に、環境対策を強制すること。
- ・障害者の方への雇用に積極的でないのも持続化可能なまちであるとはいえない。県が地方局でチャレンジド制度に取り組んでいるが、新居浜市には特別支援学校があり、新居浜市独自にチャレンジド雇用制度の取り組みを始めてもよいと思う。

問2 1. 「健康や心を大切にすまち」であるためには、どのようなことが重要だと思いますか。
(3つまで選択)

1. ライフスタイルや消費が持続可能なものに転換されている	80人
2. 食品ロス削減が進んでいる	84人
3. 省エネ住宅等低炭素で健康的な居住環境が整備されている	40人
4. テレワーク等働き方改革が進み、環境負荷が低減されている	42人
5. 自然体験のための社会的なシステムが構築されている	45人
6. 地方移住等に必要な情報提供や相談支援の体制が構築されている	41人
7. 集成材など環境負荷の少ない木材需要が増え、森林が有効活用されている	31人
8. マイクロプラスチックを含む海洋ごみ対策が進んでいる	54人
9. その他	8人



「2. 食品ロス削減が進んでいる」(84人)が「健康や心を大切にすまち」であるために重要なこととして多く選択されました。その他には、「1. ライフスタイルや消費が持続可能なものに転換されている」(80人)、「8. マイクロプラスチックを含む海洋ごみ対策が進んでいる」(54人)が多くなっています。

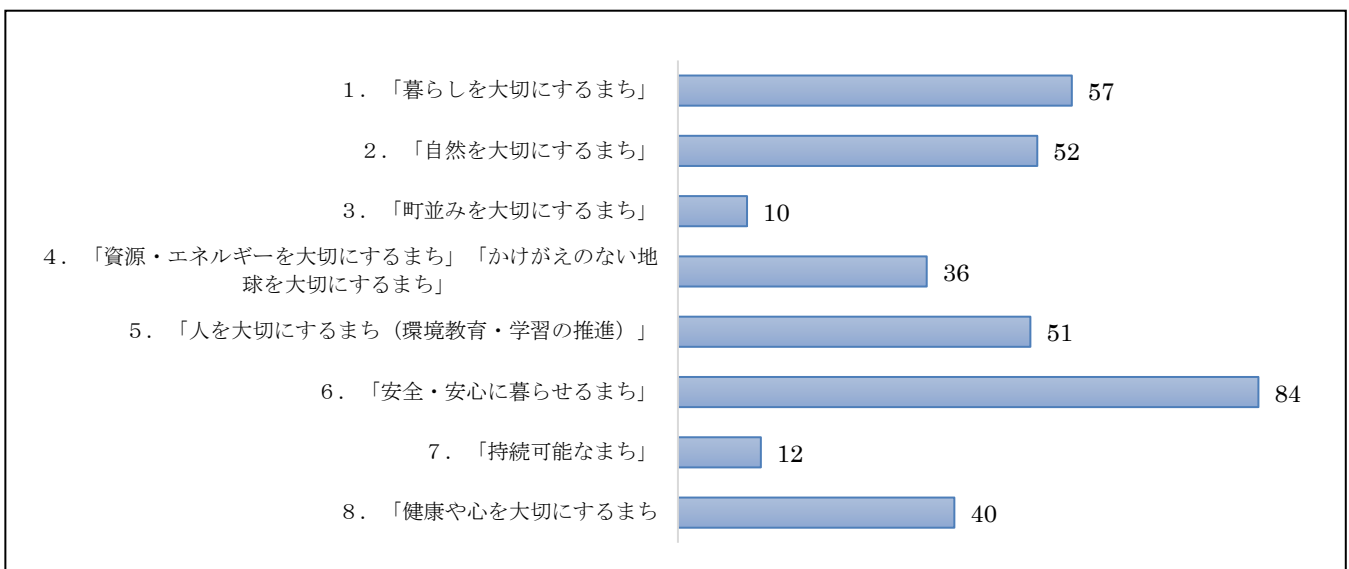
問22. 問21で「9.その他」を選択された方にお尋ねします。具体的な内容をお書きください。
(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・「健康や心を大切にできる町」とするには、医療・地域連携・行政の包括支援以外ない。物流・働き方等は上記のあとについてくる物。
- ・人権教育が充実していること。
- ・道が狭かったり、道がなかったり、自分勝手な強引な右折など、交通のイライラの解消。
- ・ハード的な面での充実も重要であるが、ソフト的な面での充実の方がより重要ではないかと思う。ソフト的な面としては住民としての意識の高さが重要であり、そのような状態に持って行けるような行政が望まれる。
- ・地区内(校区や自治会)コミュニケーションの充実。自治会への加入率UP。
- ・心の健康への相談、ケアの体制の構築が求められる。
- ・県が導入に消極的なパートナーシップ制度を新居浜市が先んじて導入。
- ・人権社会教育を充実させる事を強く求めます。災害の援助体制は自治体の必須要件です。

問23. 本市の将来の環境の状態について、問7から問21までで回答していただいた環境の各分野で、特に重視するものを選んでください。(2つまで選択)

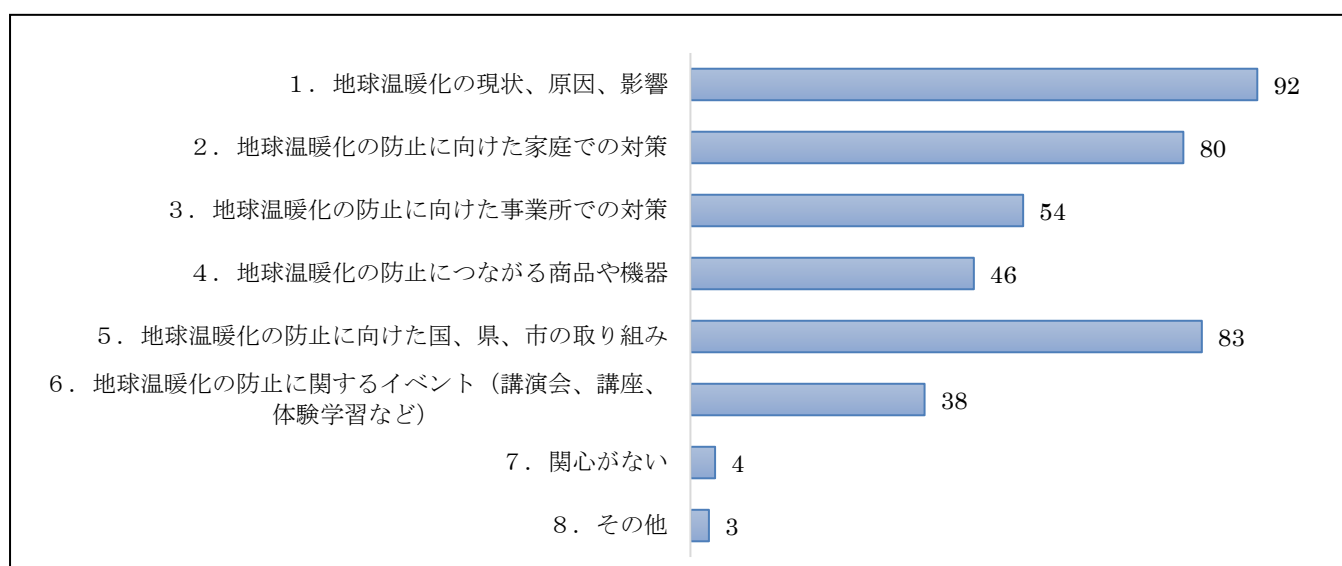
1. 「暮らしを大切にできるまち」	57人
2. 「自然を大切にできるまち」	52人
3. 「町並みを大切にできるまち」	10人
4. 「資源・エネルギーを大切にできるまち」「かけがえのない地球を大切にできるまち」	36人
5. 「人を大切にできるまち(環境教育・学習の推進)」	51人
6. 「安全・安心に暮らせるまち」	84人
7. 「持続可能なまち」	12人
8. 「健康や心を大切にできるまち」	40人



「6. 「安全・安心に暮らせるまち」(84人)が最も多く、次いで「1. 「暮らしを大切にすまち」(57人)、「2. 「自然を大切にすまち」(52人)、「5. 「人を大切にすまち(環境教育・学習の推進)」(51人)が多く選択されました。

問24. 地球温暖化について、特に関心があるものを選んでください。(3つまで選択)

1. 地球温暖化の現状、原因、影響	92人
2. 地球温暖化の防止に向けた家庭での対策	80人
3. 地球温暖化の防止に向けた事業所での対策	54人
4. 地球温暖化の防止につながる商品や機器	46人
5. 地球温暖化の防止に向けた国、県、市の取り組み	83人
6. 地球温暖化の防止に関するイベント(講演会、講座、体験学習など)	38人
7. 関心がない	4人
8. その他	3人



「1. 地球温暖化の現状、原因、影響」(92人)、「5. 地球温暖化の防止に向けた国、県、市の取り組み」(83人)、「2. 地球温暖化の防止に向けた家庭での対策」(80人)を選択した人が多い結果となりました。

p

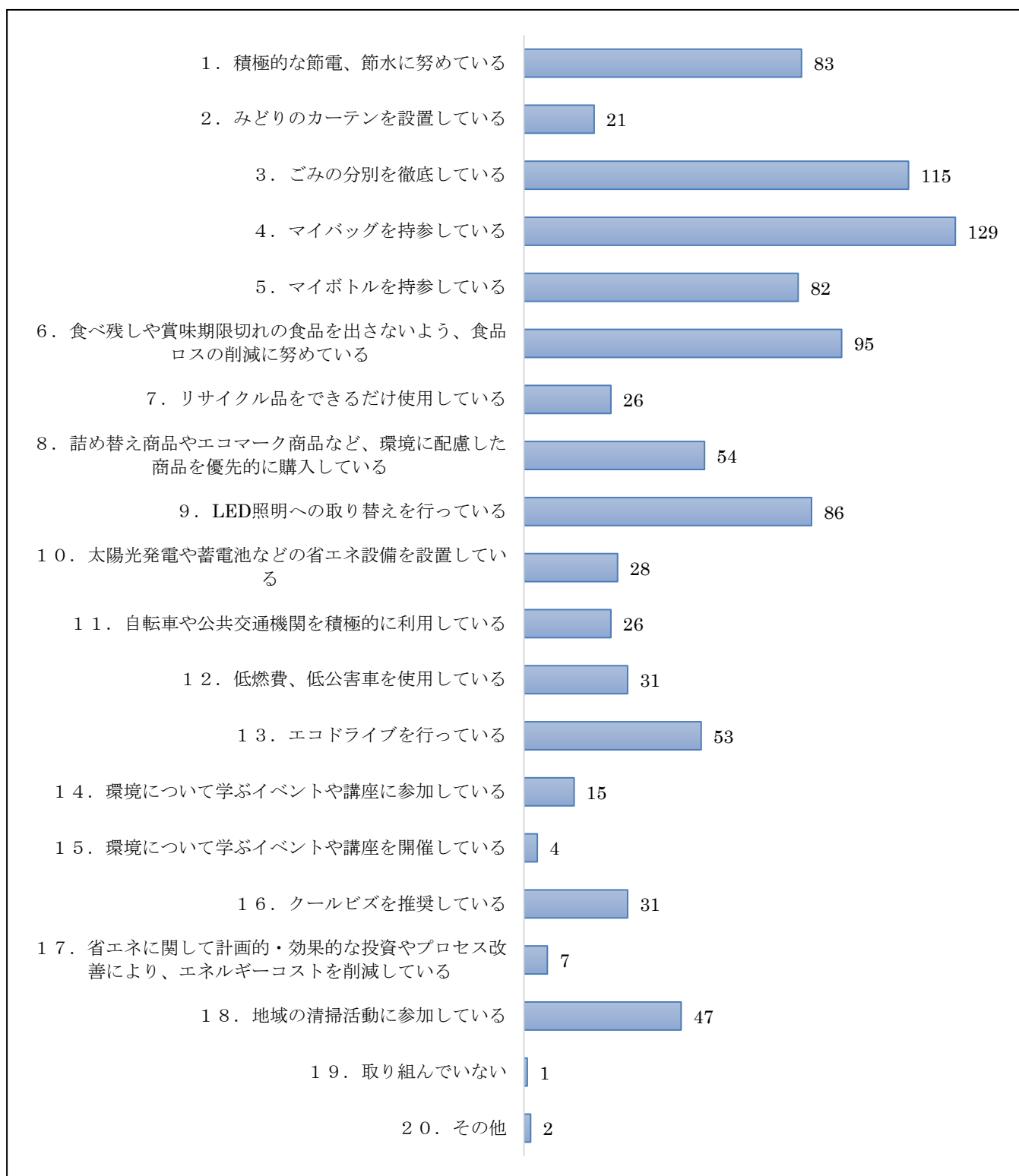
問25. 問24で「8. その他」を選択された方にお尋ねします。具体的な内容をお書きください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・最近の異常気象は元より、北極、南極の氷の溶解が相当に進行しているようです。大洋上の島国の沈下が問題になっていることもです。
- ・維持管理できない緑化はやめてほしい。

問26. 地球温暖化対策のために、日常生活や企業経営の中で取り組んでいることは何ですか。(複数選択)

1. 積極的な節電、節水に努めている	83人
2. みどりのカーテンを設置している	21人
3. ごみの分別を徹底している	115人
4. マイバッグを持参している	129人
5. マイボトルを持参している	82人
6. 食べ残しや賞味期限切れの食品を出さないよう、食品ロスの削減に努めている	95人
7. リサイクル品をできるだけ使用している	26人
8. 詰め替え商品やエコマーク商品など、環境に配慮した商品を優先的に購入している	54人
9. LED照明への取り替えを行っている	86人
10. 太陽光発電や蓄電池などの省エネ設備を設置している	28人
11. 自転車や公共交通機関を積極的に利用している	26人
12. 低燃費、低公害車を使用している	31人
13. エコドライブを行っている	53人
14. 環境について学ぶイベントや講座に参加している	15人
15. 環境について学ぶイベントや講座を開催している	4人
16. クールビズを推奨している	31人
17. 省エネに関して計画的・効果的な投資やプロセス改善により、エネルギーコストを削減している	7人
18. 地域の清掃活動に参加している	47人
19. 取り組んでいない	1人
20. その他	2人



「4. マイバッグを持参している」(129人)と答えた方が最も多い結果となりました。その他、「3. ごみの分別を徹底している」(115人)、「6. 食べ残しや賞味期限切れの食品を出さないよう、食品ロスの削減に努めている」(95人)を選択した人が多い結果となりました。

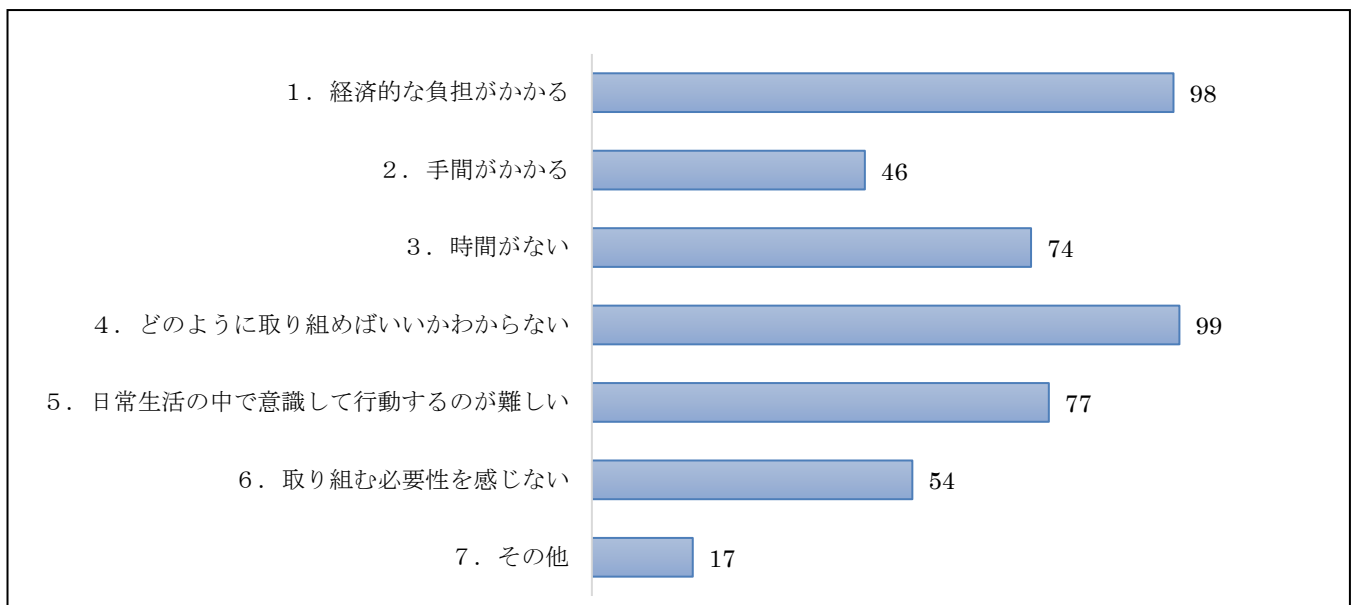
問27. 問26で「20.その他」を選択された方にお尋ねします。具体的な内容をお書きください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・必要以上の買い物をしない。お茶は自分で入れる。できれば茶の栽培から。2本もあれば良い。水・お茶(番茶)以外は飲まない。アミノ酸等の調味料は使用しない。極力外食はしない。おやつ等は自分で作る。→あまり外出しなくなる。→一人あるいは家族のみの時間を多くする。
- ・えひめAI-2を積極的に普及するように自分で使ってなおかつ広報しています。
- ・生ゴミは畑の肥料にを使って、自家菜園で野菜づくり

問28. 日常生活や企業経営の中で、地球温暖化対策に取り組むための妨げとなっていることは何ですか。(3つまで選択)

1. 経済的な負担がかかる	98人
2. 手間がかかる	46人
3. 時間がない	74人
4. どのように取り組めばいいかわからない	99人
5. 日常生活の中で意識して行動するのが難しい	77人
6. 取り組む必要性を感じない	54人
7. その他	17人



地球温暖化対策に取り組むための妨げとなっていることとして多く選択されたのは、「4. どのように取り組めばいいかわからない」(99人)、「1. 経済的な負担がかかる」(98人)、という結果になりました。

問29. 問28で「7.その他」を選択された方にお尋ねします。具体的な内容をお書きください。

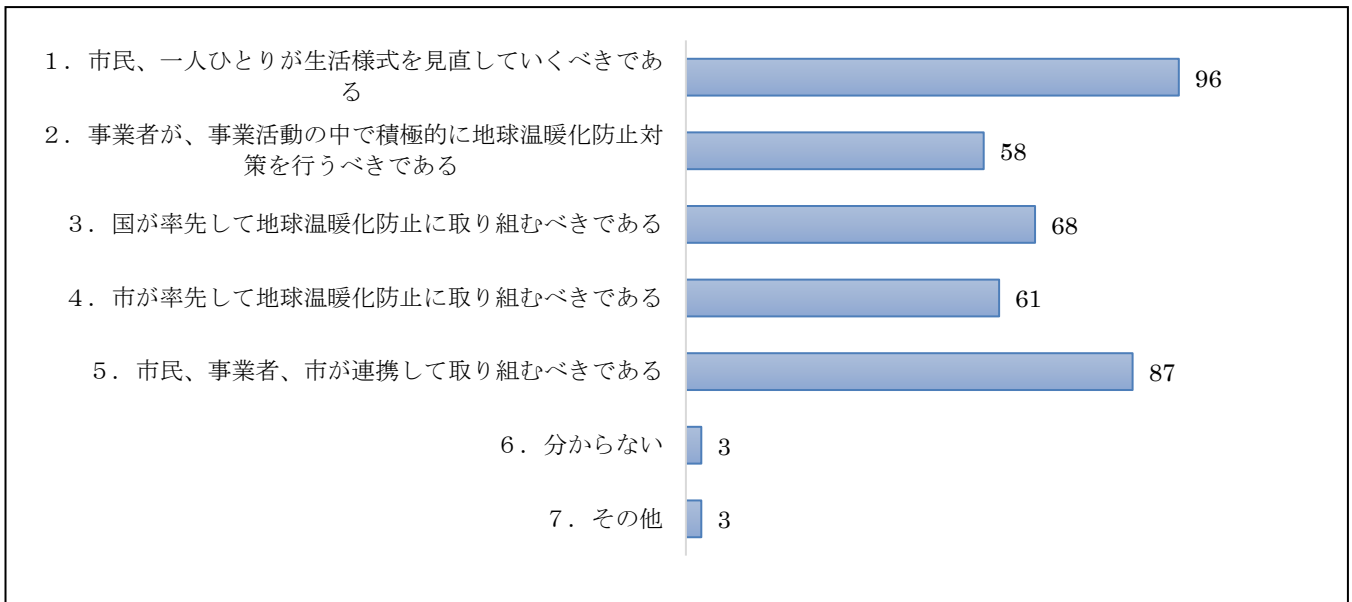
(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・市民だけでなく企業に対する取り組みも入れるべき。新居浜は工業の町でもある事を念頭に入れるべき。
- ・もっと積極的に温暖化対策を周知するようアピールしてほしい。一人一人が気をつければ温暖化は食い止められると思います。子孫にかけがえのない地球を残していくため真剣に取り組むべき。
- ・旧年式ディーゼル車への規制が愛媛ではない上、高年式車両への税金重課が少なく、旧年式ディーゼル車が多数残存している。
- ・購入するものにゴミになるものが多い。夜間まで営業している店舗で、肉の量り売りをしている店がない。
- ・自己焼却許可品目の徹底と啓発、(農業・漁業・林業)の指導また各家庭の枯草焼却禁止等。

問30. 地球温暖化対策を実施するにあたり、どの主体による取り組みが特に重要だと思いますか。(3つまで選択)

1. 市民、一人ひとりが生活様式を見直していくべきである	96人
2. 事業者が、事業活動の中で積極的に地球温暖化防止対策を行うべきである	58人
3. 国が率先して地球温暖化防止に取り組むべきである	68人
4. 市が率先して地球温暖化防止に取り組むべきである	61人
5. 市民、事業者、市が連携して取り組むべきである	87人
6. 分からない	3人
7. その他	3人



地球温暖化対策の主体として多く選択されたのは、「1. 市民、一人ひとりが生活様式を見直していくべきである」(96人)、次いで「5. 市民、事業者、市が連携して取り組むべきである」(87人)、という結果になりました。

問3 1. 問3 0で「7.その他」を選択された方にお尋ねします。具体的な内容をお書きください。

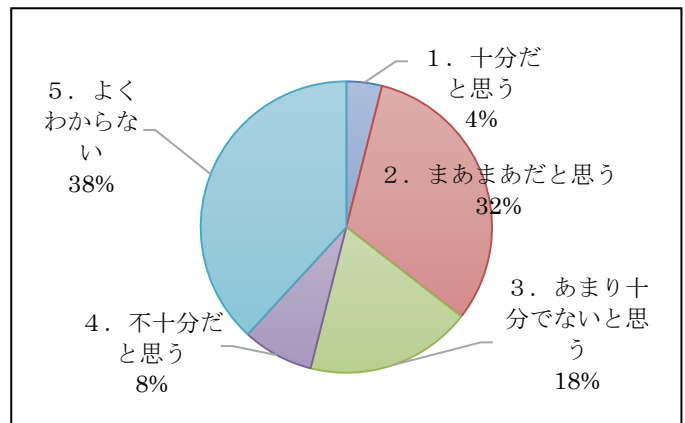
(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・地球規模の問題が主課題であるだけに、地方、市で可能な範囲には限度があるはずですが。その小さな取り組みこそが大きな問題の解決に向けての礎となるはずですが。
- ・社会のコンセンサス、合意を形成することが重要。

問3 2. 新居浜市の地球温暖化対策に向けた施策は十分だと思いますか。(1つ選択)

1. 十分だと思う	3人
2. まあまあだと思う	24人
3. あまり十分でないと思う	14人
4. 不十分だと思う	6人
5. よくわからない	29人



「5. よくわからない」(38%)を選択した人が最も多い結果となりました。

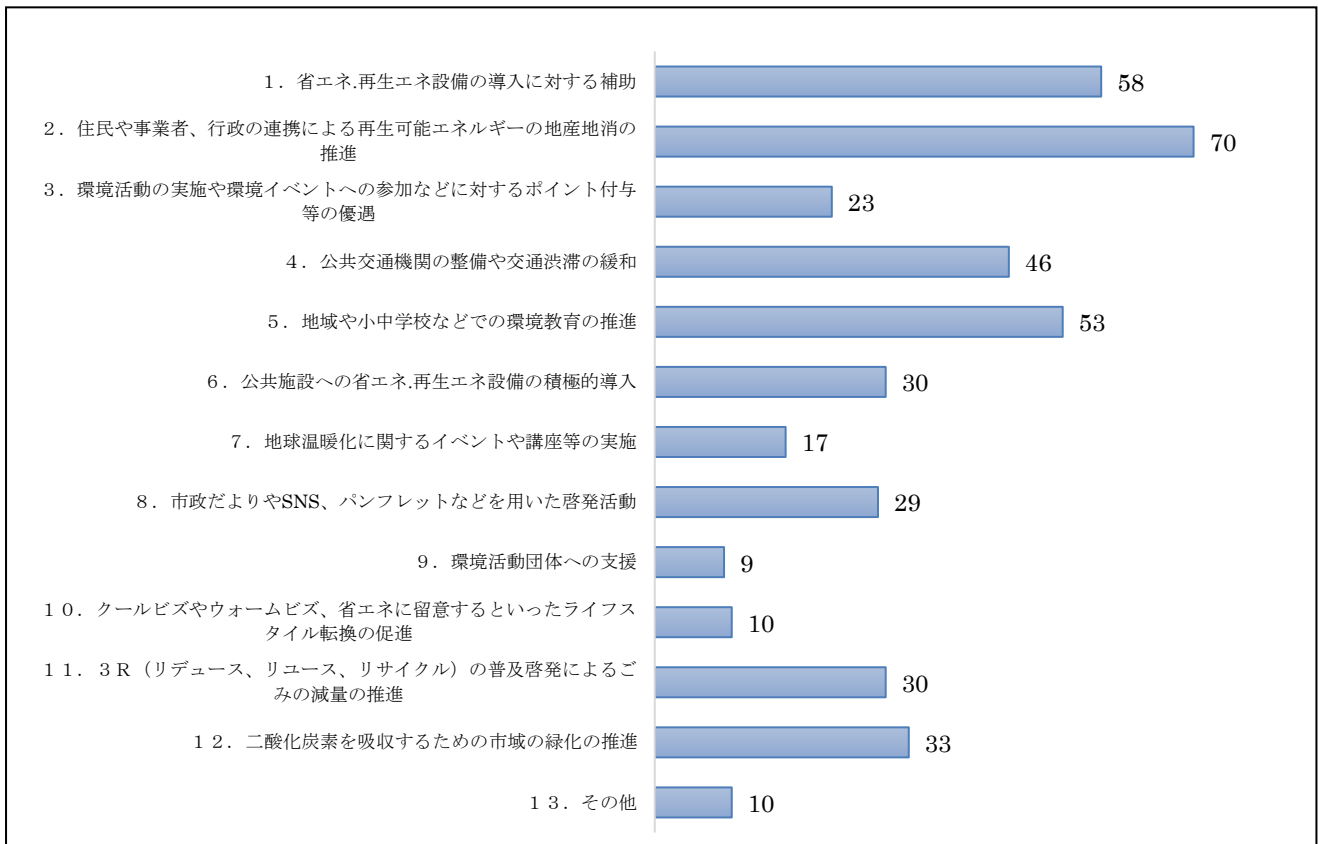
問3 3. 問3 2で「3. あまり十分でないと思う」「4. 不十分だと思う」を選択された方は、できれば具体的に、どのような点が不十分であると思うかご記入ください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・今一歩動きが感じられない。具体的アクションがない。具体的アピールが今一歩である。
- ・何をしているかよくわからない。発信されていない。
- ・個人がどのように対策・工夫すれば良いか、情報をもっと届けて欲しい。
- ・現状10月から廃棄物が有料となった途端、市民が誰もが今とばかりに多くの家財道具を処分しています。急ぎょ処分してくっても済むものも急いで棄てる。現在まだ再生できるものが多くあります。衣類・食器など(布巾など)本当に迷って捨てています。買い求めるより見直し時間がほしいと思われま。
- ・温暖化対策に対して老人にもっと解りやすく協力できる事を教えるべき。その事は次世代にいかにより必要かと教えるのがいいと思います。
- ・カーボンニュートラル宣言など取り組みの姿勢は評価出来るが、これまでの延長や簡単にできる取り組みに留まっていて、大きな変革を作るための具体的な対応や実行が見えてこない。
- ・市役所庁舎内の冷房がクールビズの推奨温度を大きく下回っている。
- ・自家用車の利用削減の為、公共交通機関を代替したくても、不便。便数が少ない。最終便が早すぎる。
- ・今回10月からのゴミ処理の有料化は大変有効だと思う。今後も必要なところは、有料にすべきと思う。

問34. 地球温暖化対策として、新居浜市が今後重点的に取り組んでいく必要があると思うものは何ですか。(3つまで選択)

1. 省エネ.再生エネ設備の導入に対する補助	58人
2. 住民や事業者、行政の連携による再生可能エネルギーの地産地消の推進	70人
3. 環境活動の実施や環境イベントへの参加などに対するポイント付与等の優遇	23人
4. 公共交通機関の整備や交通渋滞の緩和	46人
5. 地域や小中学校などでの環境教育の推進	53人
6. 公共施設への省エネ.再生エネ設備の積極的導入	30人
7. 地球温暖化に関するイベントや講座等の実施	17人
8. 市政だよりやSNS、パンフレットなどを用いた啓発活動	29人
9. 環境活動団体への支援	9人
10. クールビズやウォームビズ、省エネに留意するといったライフスタイル転換の促進	10人
11. 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の普及啓発によるごみの減量の推進	30人
12. 二酸化炭素を吸収するための市域の緑化の推進	33人
13. その他	10人



最も多いのは「2. 住民や事業者、行政の連携による再生可能エネルギーの地産地消の推進」(70人)で、他には「1. 省エネ.再生エネ設備の導入に対する補助」(58人)、「5. 地域や小中学校などでの環境教育の推進」(53人)が多く選択されました。

問35. 問34で「13.その他」を選択された方にお尋ねします。具体的な内容をお書きください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・住宅地の樹木より新居浜市の森林保護、山間部の荒れた土地家屋、増えすぎたサル、イノシシ、シカ、タヌキ、ハクビシン等、里山を生き返らせてください。
- ・庭のある家は、1本木を植えるはどうでしょうか？
- ・パンフレットは紙が無駄。
- ・公共交通機関（鉄道、バス）への積極的な補助や駐輪場無料化による、マイカーからの転換推進。
- ・えひめAI-2を市役所が率先して自治会などで導入しやすくサポートしてもらいたい。

<まとめ>

今回のアンケートは、第3次にはま環境プラン（環境基本計画及び環境保全行動計画）策定に当たり、環境や地球温暖化に関する市民の皆さんの認識やご意見等を参考とするために、実施させていただきました。

まず、「大切にしたい環境、場所、風景、風習」について、別子山、垣生山、ちち山などの山々、渦井川、国領川などの河川、垣生、沢津、大島などの海岸といった「自然環境」、滝の宮公園、広瀬公園、池田池公園など「思い出に残る公園」、別子銅山、えんとつ山、天正の陣などの「歴史遺産」、蛍祭り、かぶと踊り、とうど送りなどの「行事」とたくさんの回答があり、回答者の皆さんが、地域への非常に強い愛着を持っていただいていることが分かりました。

また、本市の環境の将来において重視する分野についての設問では、「安全・安心」「暮らしを大切に」「自然を大切に」の項目が上位に挙がっており、これから将来にかけて、森林伐採や海洋環境問題による自然破壊等に危機感を感じ、深刻に受け止めているとともに、日常生活への影響に不安を感じていらっしゃる方が多数いるということが明らかになったと考えております。

地球温暖化については、関心が高い項目として「温暖化の現状」「温暖化防止に向けた国等の取組み」「家庭での対策」が上位に挙がっており、「関心がない」は僅か4人であったことから、地球温暖化への関心の高さが伺えました。また、これに関連して、日常生活、企業経営において取り組んでいる地球温暖化対策では「マイバッグ持参」「ごみの分別」「食品ロス削減」という回答が多く、費用をかけずに手軽に行える取組を積極的に行っていただいている現状が伺えました。その他にも「LED照明への取替」も上位に挙がっており、将来的なコストダウンを見込んだ、環境面だけでなく経済面でも有効な取組について関心が高まっていると考えております。

第3次にはま環境プランでは、第2次のプラン策定時に実施した意識調査との比較検証を行うことで環境意識の変化について分析するとともに、その結果を今後10年間の環境施策、環境目標の設定等に反映させていきたいと考えており、今回のアンケート結果は、貴重な参考資料として活用してまいりたいと考えております。ご協力ありがとうございました。

(担当課：カーボンニュートラル推進室)

テーマ⑤ 防災について

【調査趣旨】

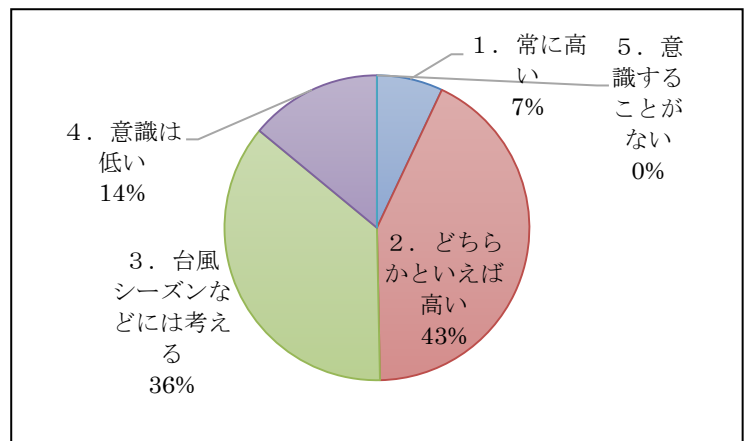
南海地震は今後30年以内に「70～80%」の高い確率で発生するといわれています。いつ発生するかわからない災害に備えるため、皆さまの防災・減災への意識や取り組みについてお聞かせいただき、今後の防災の取り組みの参考とさせていただきます。

(担当課：危機管理課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. 新居浜市に甚大な被害をもたらした平成16年豪雨災害から18年、また東日本大震災から11年が経過しましたが、ご自身の防災に対する意識は高いほうだと思いますか？（1つ選択）

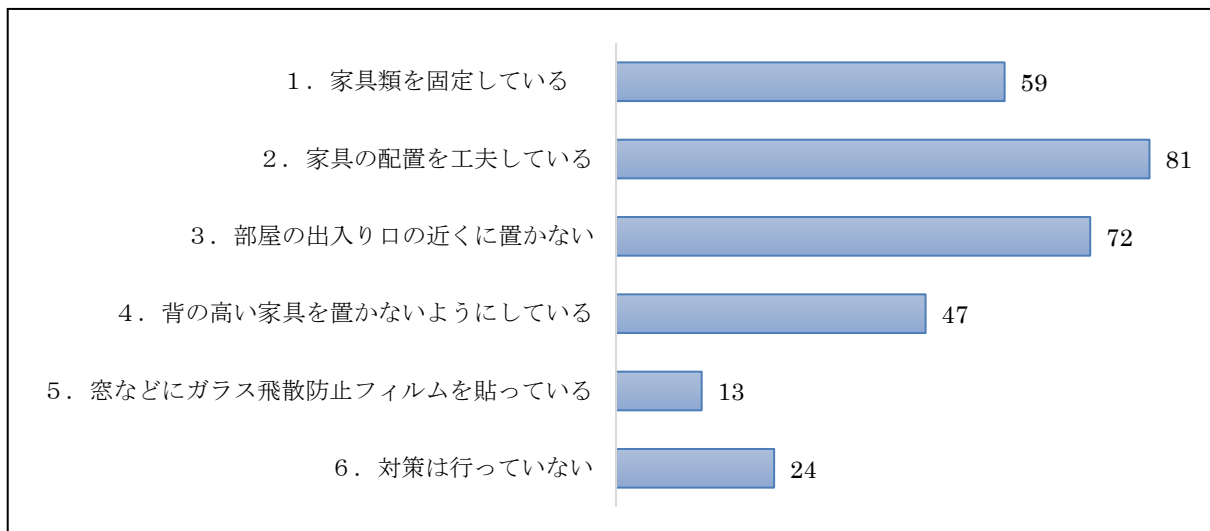
1. 常に高い	11人
2. どちらかといえば高い	67人
3. 台風シーズンなどには考える	57人
4. 意識は低い	22人
5. 意識することがない	0人



「1. 常に高い」(7%)、「2. どちらかといえば高い」(43%)を選択した人が50%で、約半数の方は高い防災意識をお持ちであるという結果となりました

問3. 南海トラフ地震では、最大震度7という非常に強い揺れが発生する可能性もあります。大地震が起こった場合に備えて、ご家庭などにおいて家具転倒防止等のためにどのような取り組みをしていますか（複数選択）

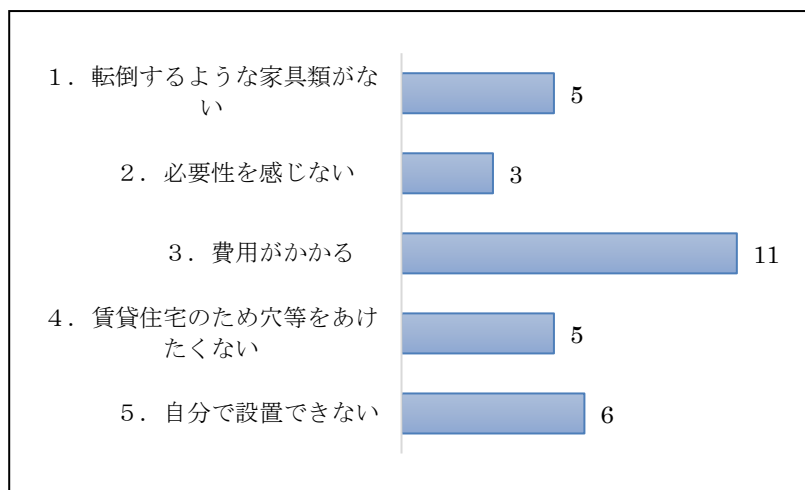
1. 家具類を固定している	59人
2. 家具の配置を工夫している	81人
3. 部屋の出入り口の近くに置かない	72人
4. 背の高い家具を置かないようにしている	47人
5. 窓などにガラス飛散防止フィルムを貼っている	13人
6. 対策は行っていない	24人



「2. 家具の配置を工夫している」(81人)と答えた方が最も多く、その他「3. 部屋の出入り口の近くに置かない」(72人)、「1. 家具類を固定している」(59人)などに多く取り組まれているようです。

問4. 問3で「6. 対策は行っていない」とお答えいただいた方にお伺いします。対策を行っていない理由は何ですか。(複数選択)

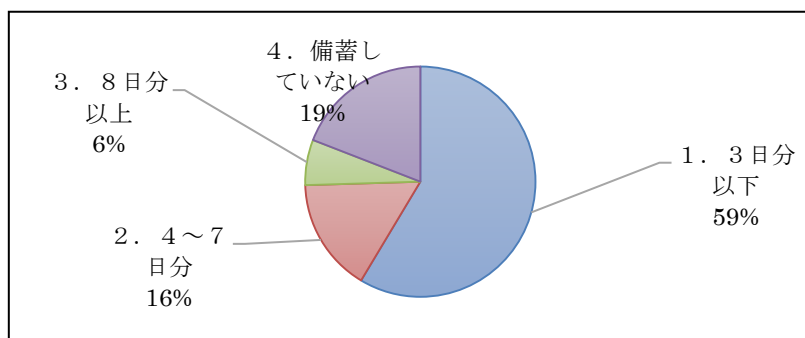
1. 転倒するような家具類がない	5人
2. 必要性を感じない	3人
3. 費用がかかる	11人
4. 賃貸住宅のため穴等をあけたくない	5人
5. 自分で設置できない	6人



対策を行っていない理由として最も多かった答えは「3. 費用がかかる」(11人)で、次いで「5. 自分で設置できない」(6人)が多いという結果になりました。

問5. 災害に備えて飲料水や食料の備蓄はありますか。(1つ選択)

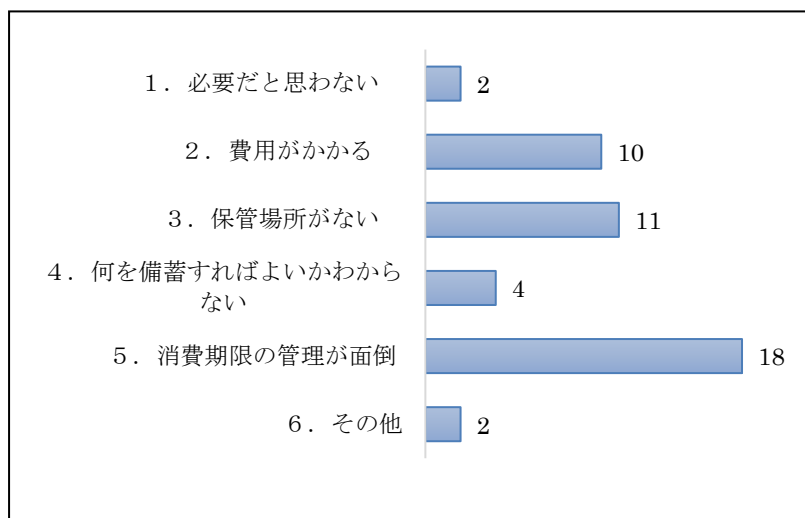
1. 3日分以下	92人
2. 4～7日分	25人
3. 8日分以上	10人
4. 備蓄していない	30人



「4. 備蓄していない」(30人)と答えた人は全体のやく2割で、それ以外の8割の方は何かしら災害に備えて飲料水や食料の備蓄をしているという結果となりました。

問6. 問5で「4. 備蓄していない」とお答えいただいた方にお伺いします。備蓄していない理由は何ですか。(1つ選択)

1. 必要だと思わない	2人
2. 費用がかかる	10人
3. 保管場所がない	11人
4. 何を備蓄すればよいかわからない	4人
5. 消費期限の管理が面倒	18人
6. その他	2人



備蓄をしていない人の理由の最も多かったものは「5. 消費期限の管理が面倒」(18人)で、次いで「3. 保管場所がない」(11人)、「2. 費用がかかる」(10人)が多い結果となりました。

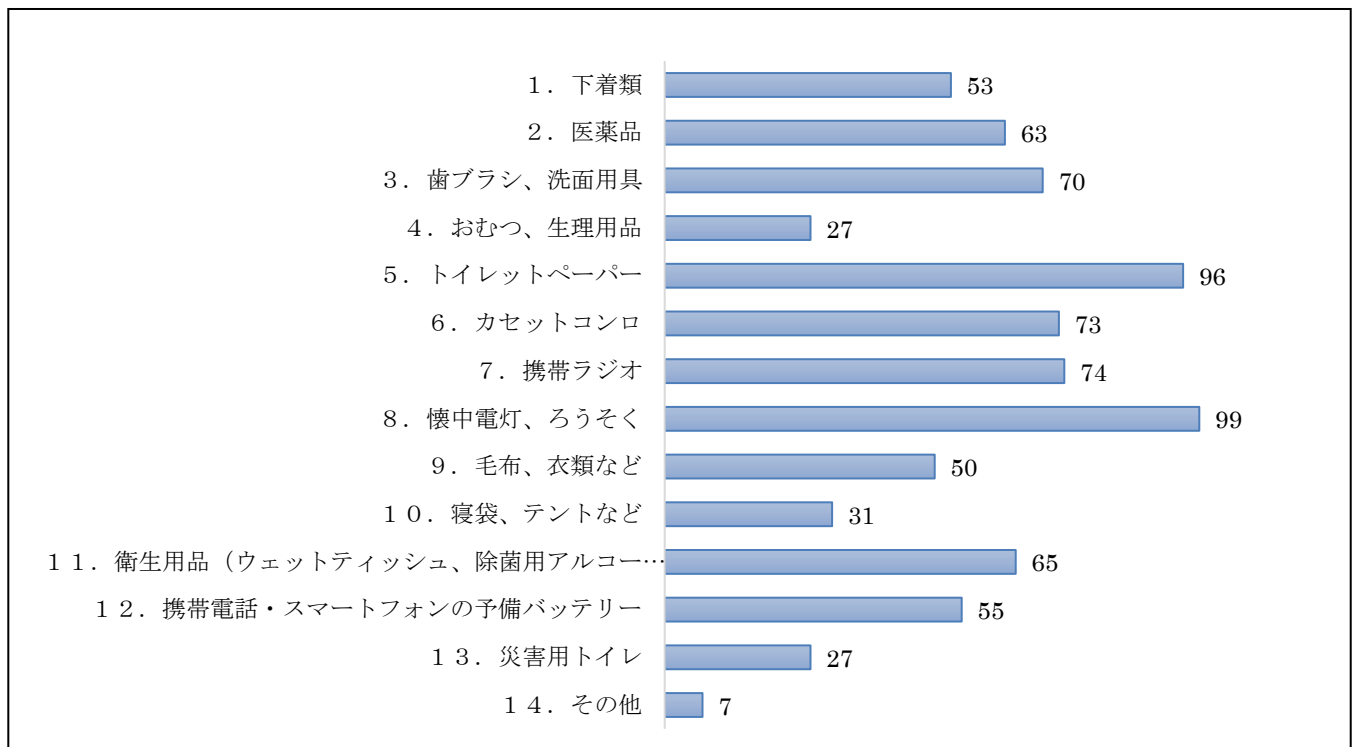
問7. 問6で「6. その他」とお答えいただいた方にお伺いします。備蓄していない理由をご自由にご記入ください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・以前、購入した商品の賞味期限が過ぎた。
- ・一部は備蓄しているが家族全員の分を備蓄するとなるとかなりの費用と場所が必要であり、現状の住宅はそれに対応していない。
- ・備蓄用品について調べて購入を検討中。

問8. 問5で「1. 3日分以下」「2. 4～7日分」「3. 8日分以上」と答えた方にお伺いします。現在、どのような生活必需品をご家庭で備蓄していますか。(複数選択)

1. 下着類	53人
2. 医薬品	63人
3. 歯ブラシ、洗面用具	70人
4. おむつ、生理用品	27人
5. トイレットペーパー	96人
6. カセットコンロ	73人
7. 携帯ラジオ	74人
8. 懐中電灯、ろうそく	99人
9. 毛布、衣類など	50人
10. 寝袋、テントなど	31人
11. 衛生用品 (ウェットティッシュ、除菌用アルコール)	65人
12. 携帯電話・スマートフォンの予備バッテリー	55人
13. 災害用トイレ	27人
14. その他	7人
1. 下着類	53人



最も多く備蓄されているものは「8. 懐中電灯、ろうそく」(99人)で、その他「5. トイレットペーパー」(96人)、「7. 携帯ラジオ」(74人)、「6. カセットコンロ」(73人)、「3. 歯ブラシ、洗面用具」(70人)などが多く備蓄されている結果となりました。

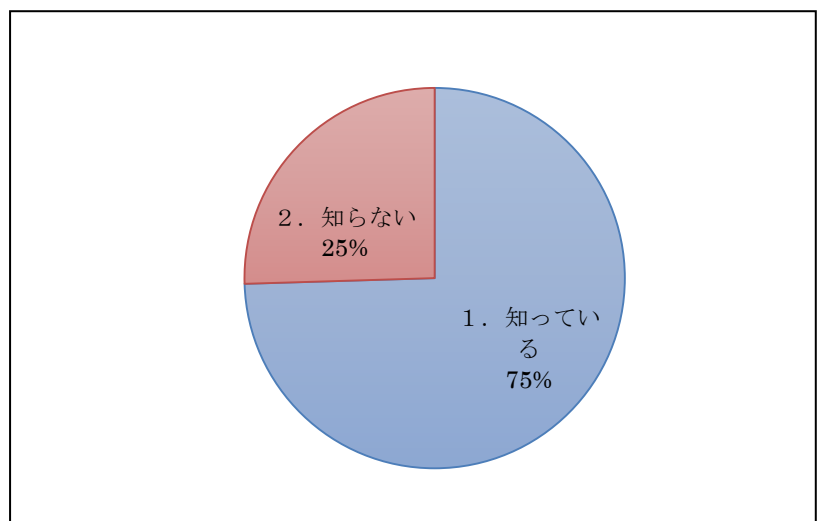
問9. 問8で「14. その他」とお答えいただいた方にお伺います。ご家庭で備蓄されている生活必需品をご自由にご記入ください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・水、貯水タンク
- ・マスク
- ・ラップ
- ・食料、レトルトカレー

問10. 令和2年4月にオープンした、災害を疑似体験し、災害対応力を身につけることができる施設である「新居浜市防災センター」をご存知ですか。(1つ選択)

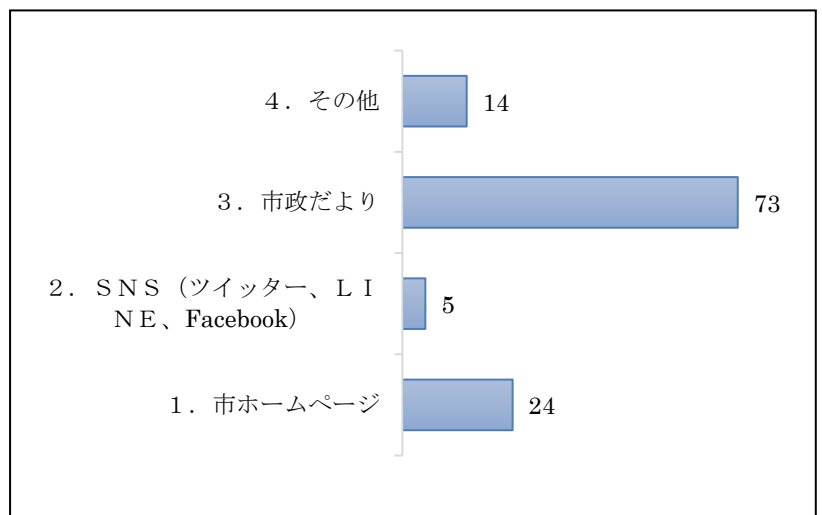
1. 知っている	117人
2. 知らない	40人



「1. 知っている」(117人)と答えた方が多く、全体の75%を占めています。

問11. 問10で「1. 知っている」とお答えいただいた方にお伺いします。防災センターについて、何でお知りになりましたか。(複数選択)

1. 市ホームページ	24人
2. SNS (ツイッター、LINE、Facebook)	5人
3. 市政だより	73人
4. その他	14人



防災センターを「3. 市政だより」で知った方が最も多く（74人）、次いで「1. 市ホームページ」（24人）という結果になりました。

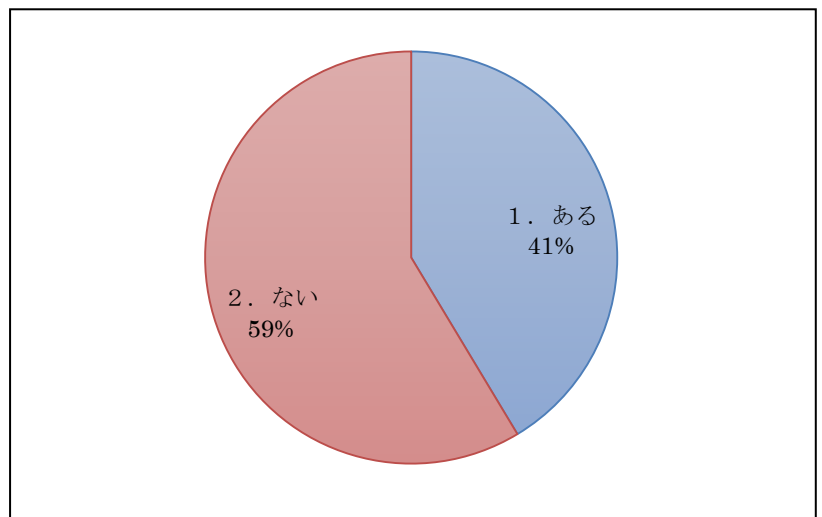
問12. 問11で「4. その他」とお答えいただいた方にお伺いします。どのような方法で防災センターについて知ったのかご自由に記入ください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・何回も利用している（イベント等にて）
- ・市政モニターを通じて。
- ・自治会、婦人会等のイベントで利用。
- ・子供が学校で体験してきてその話を聞いた
- ・建物ができているのを見て。

問13. 問10で「1. 知っている」とお答えいただいた方にお伺いします。利用されたことがありますか。（1つ選択）

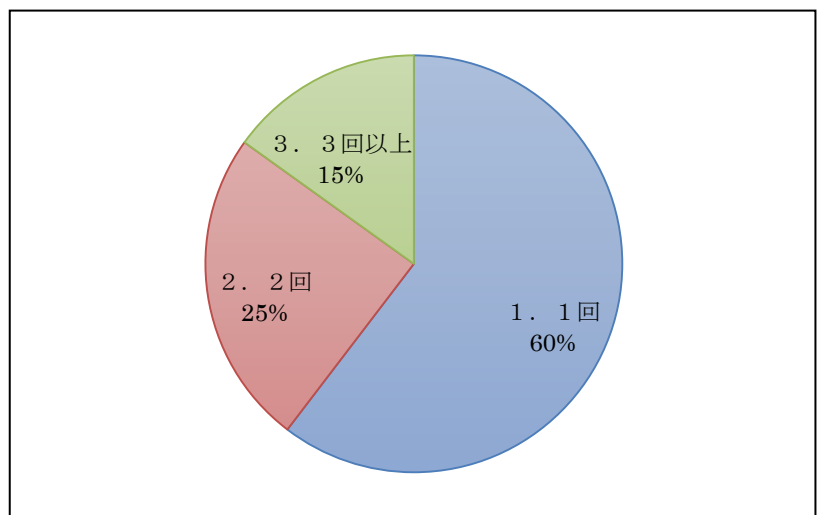
1. ある	48人
2. ない	68人



防災センターを利用したことが「2. ない」（59%）と答えた方が半数を超えています。

問13. 問13で「1. ある」とお答えいただいた方にお伺いします。何回利用されましたか。（1つ選択）

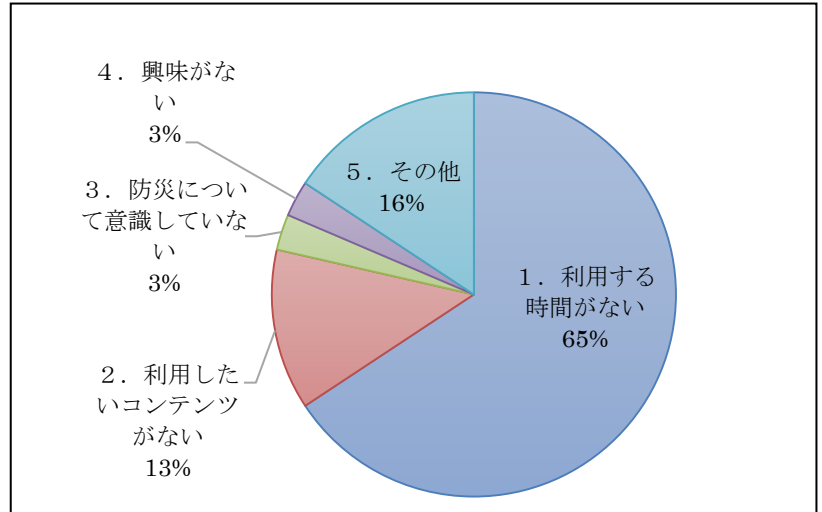
1. 1回	32人
2. 2回	13人
3. 3回以上	8人



防災センターの利用回数は1回と答えた方が最も多かった一方、「3. 3回以上」と答えた方も15%いるという結果となりました。

問15. 問13で「2. ない」とお答えいただいた方にお伺いします。利用されていない理由は、次のうちどれですか。(1つ選択)

1. 利用する時間がない	46人
2. 利用したいコンテンツがない	9人
3. 防災について意識していない	2人
4. 興味がない	2人
5. その他	11人



「1. 利用する時間がない」(65%)という答えが最も多く、そのほか「2. 利用したいコンテンツがない」(13%)と答えた方が多い結果となりました。

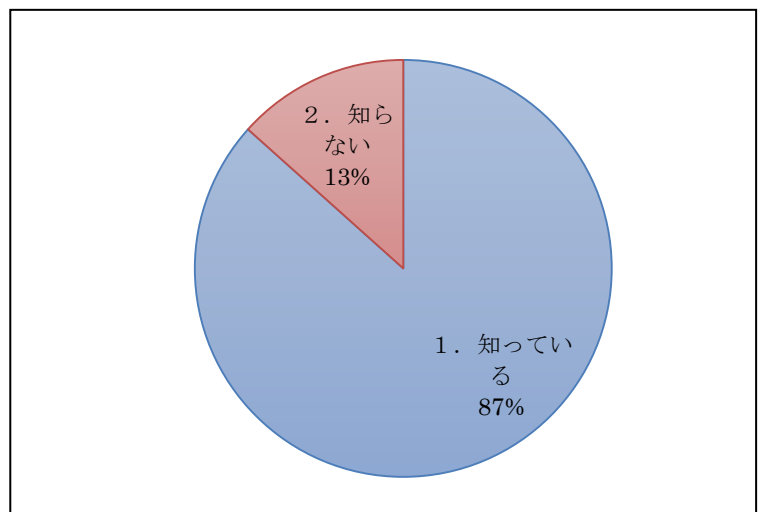
問16. 問15で「5. その他」とお答えいただいた方にお伺いします。防災センターを利用したことがない理由をご自由に記入ください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・防災センターについてあまり知らない。
- ・(職場のある)他市の施設で利用した。
- ・一度行った時に予約制だと聞いて、予約なしで好きな時に行きたいから。
- ・平日仕事をしているので、時間がなかなか取れない。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響。

問17. あなたは、インターネットサイトや新居浜市総合防災マップなど各種ハザードマップがあることを知っていますか。(1つ選択)

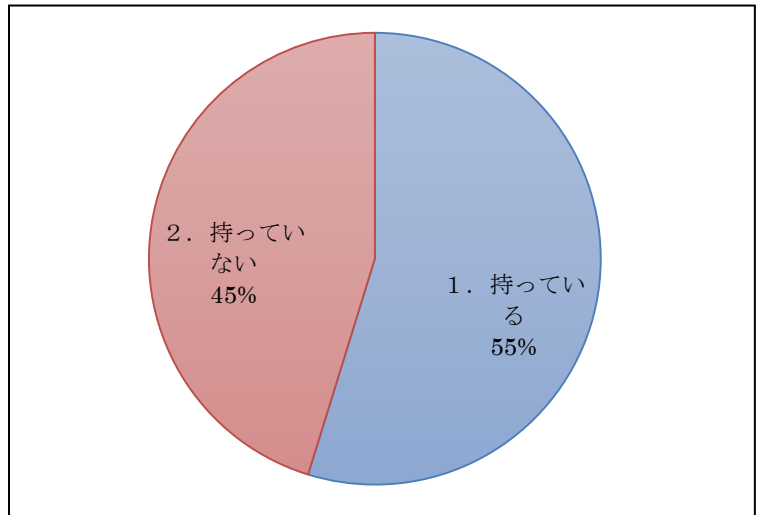
1. 知っている	136人
2. 知らない	21人



インターネットサイトや新居浜市総合防災マップなど各種ハザードマップがあることを「1. 知っている」(136人)と答えた方が87%で、大半の方が認知しているという結果になりました。

問18. あなたは、新居浜市総合防災マップ（A4冊子）を持っていますか。（現行の新居浜市総合防災マップは、防災情報などを盛り込んだ啓発面と、土砂災害や河川洪水など複数のハザード情報を掲載する地図面で構成されています。）（1つ選択）

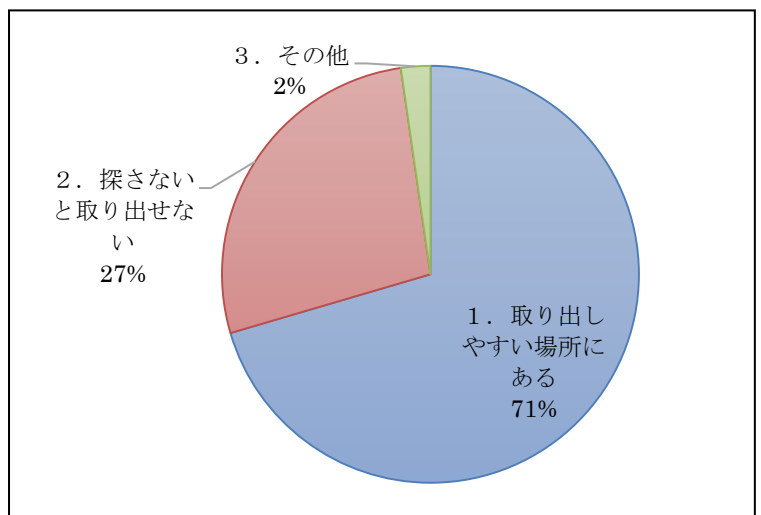
1. 持っている	86人
2. 持っていない	71人



「1. 持っている」(86人)と答えた方が半数を超えましたが「2. 持っていない」(71人)と答えた方も45%いるという結果となりました。

問18. 問18で「1. 持っている」とお答えいただいた方に普段の保管場所についてお伺いします。（1つ選択）

1. 取り出しやすい場所にある	62人
2. 探さないと取り出せない	24人
3. その他	2人



「1. 取り出しやすい場所にある」(62人)と答えた方が最も多く71%となりました。

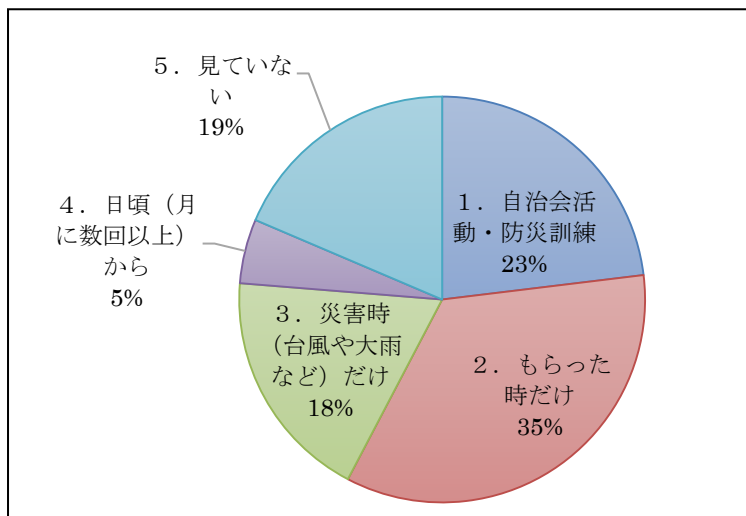
問20. 問19で「3. その他」とお答えいただいた方にお伺いします。防災マップを何処に保管しているのかご自由に記入ください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・あるはずなだけで物が有りすぎてみつからない
- ・本棚
- ・リビングのマガジンラック
- ・非常持ち出し袋に入れている

問21. どんな時に新居浜市総合防災マップを確認(冊子、インターネットのいずれかを問わない。)しているのかお伺いします。(1つ選択)

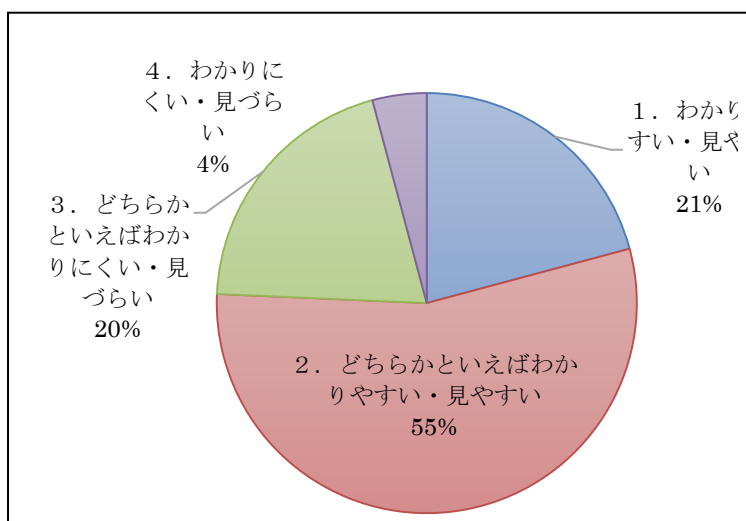
1. 自治会活動・防災訓練	36人
2. もらった時だけ	54人
3. 災害時(台風や大雨など)だけ	29人
4. 日頃(月に数回以上)から	8人
5. 見ていない	29人



「2. もらった時だけ」(54人)と答えた方が最も多く35%で、次いで「1. 自治会活動・防災訓練」(36人)という結果になりました。

問22. 現在の新居浜市総合防災マップをどう思いますか。(1つ選択)

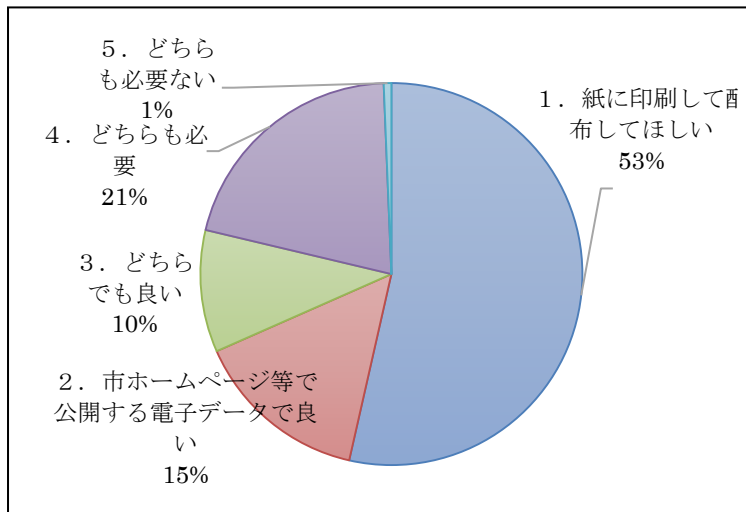
1. わかりやすい・見やすい	30人
2. どちらかといえばわかりやすい・見やすい	79人
3. どちらかといえばわかりにくい・見づらい	29人
4. わかりにくい・見づらい	6人



「2. どちらかといえばわかりやすい・見やすい」(55人)と答えた方が最も多い結果となりました。

問 2 3. 今後の新居浜市総合防災マップの在り方についてお伺いします。(1つ選択)

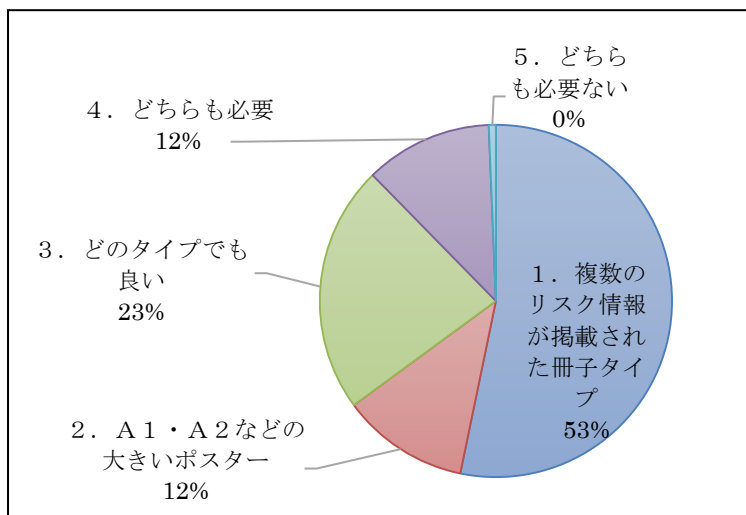
1. 紙に印刷して配布してほしい	83 人
2. 市ホームページ等で公開する電子データが良い	23 人
3. どちらでも良い	16 人
4. どちらも必要	32 人
5. どちらも必要ない	1 人



「1. 紙に印刷して配布してほしい」(53%人)と答えた方が最も多い結果となりました。

問 2 4. 今後の新居浜市総合防災マップの形態についてお伺いします。(1つ選択)

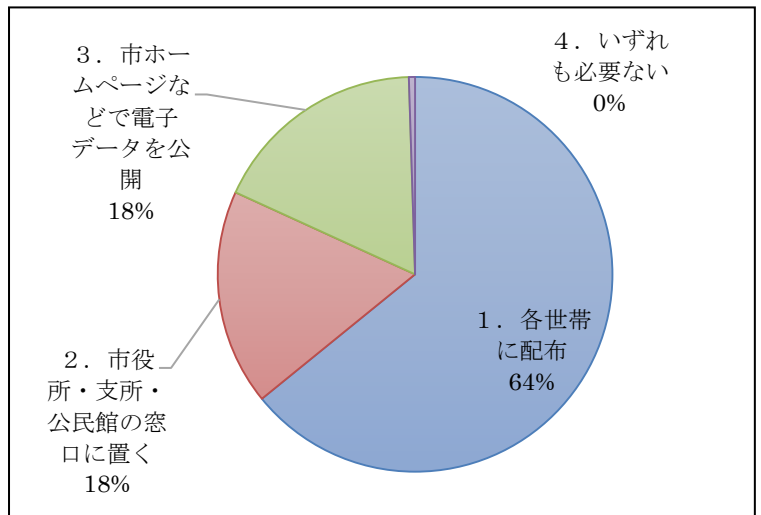
1. 複数のリスク情報が掲載された冊子タイプ	82 人
2. A1・A2などの大きいポスター	18 人
3. どのタイプでも良い	35 人
4. どちらも必要	18 人
5. どちらも必要ない	1 人



「1. 複数のリスク情報が掲載された冊子タイプ」(53%)と答えた方が最も多く、そのほか「3. どのタイプでも良い」(23%)と答えた方が多くいました。

問 2 5. 今後の新居浜市総合防災マップの形態についてお伺いします。(1つ選択)

1. 各世帯に配布	127 人
2. 市役所・支所・公民館の窓口に置く	35 人
3. 市ホームページなどで電子データを公開	35 人
4. いずれも必要ない	1 人



「1. 各世帯に配布」(64%)と答えた方が最も多く、そのほか「2. 市役所・支所・公民館の窓口に置く」(35%)、「3. 市ホームページなどで電子データを公開」(35%)、の順となりました。

問 2 6. 新居浜市総合防災マップに新たに掲載してほしい内容等ございましたらご自由にご記入ください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・避難経路を掲載してほしい。
- ・避難場所明細や各避難場所の収容人数、トイレや冷暖房の有無、安全な駐車場の有無。
- ・公衆電話の場所。
- ・家庭配布はA2に拡大して頂けると読み易いのではないのでしょうか。
- ・総合防災マップは限られた場所ではなく、(病院)ショッピングセンターや、駅、体育館など、集合場所で誰の目にも当たる所がいいのではないのでしょうか。
- ・浸水時の道路が使用できるかどうか。
- ・企業の位置、人数を考慮して平日・休日・日中・夜などシチュエーション毎の避難ルートや混雑具合を想定した資料が欲しいです。
- ・避難場所の標高。
- ・現在の防災マップはいろいろな内容が記載されていてとても良いと思います。何か訂正するところなどはないかと思いながら拝見しましたが特に思いつきませんでした。

問 2 7. 新居浜市総合防災マップに関する提案・要望等ございましたらご自由にご記入ください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・防災マップ版の最初の頁か最終頁に、家庭用備蓄品と避難場所へ行く時の最低所持品の掲載があればと思います。
- ・上部・川東・川西と区別してより具体的なものに。
- ・防災マップについて知人等に聞くと関心が余りない様に思われます。公報とか公民等で色々と見たり、勉強

会をし多くの人に防災に関心を持つ機会を作ってほしいと思います。

- 防災マップを配布した時に公民館などで説明会をしてもらいたい。特にその地域で気をつけることや避難場所について。
- 平日仕事をしているので、時間がなかなか取れない。
- ペットを連れていける避難所を教えてほしい。
- 字を大きく、QRコード読み込む、音声で対応
- 高齢者にも見てほしいので紙ベースなのはありがたい。
- 住んでる地区のより詳しい情報の入ったマップ（その地区住民限定版）例えば、浸水しやすい道路、蓋の無い用水路の表示。
- 市からの放送が聞こえにくい時があります。災害時、避難の放送のとき、聞こえなかったらと不安です。
- ラインアプリで新居浜市を登録している。今はほとんどの人が携帯を使用しているので、携帯を利用して個人の位置情報、避難場所への誘導などAIを使ったシステムを開発してほしい。
- 災害時、何をどれだけ備蓄したらよいかいろいろな本を見るけれどバラバラなので、市で統一して教えて欲しい。避難場所には何（備蓄や簡易ベッドなど）がどれだけあるのか把握もしておきたい。皆が避難したい避難場所に避難できるのか、人数に限りがあるのか、全世帯が避難所へ避難するとしたら可能なのか、具体的な数字を知りたい。
- 防災士をもっと増やすことへの取り組みをお願いします。



©NPO 法人新居浜まちゆり隊

<まとめ>

<まとめ> 防災について

近い将来発生が危惧されている南海トラフ巨大地震に備えるため、市民の防災・減災への取り組みについて、188人（20代4人、30代21人、40代52人、50代32人、60代36人、70代36人、80代以上7人）にアンケートを行い、157人の方から御回答をいただきました。

当市に甚大な被害をもたらした平成16年災害や東日本大震災などの経験から、市民の防災に対する意識は約半数が「常に高い」または「どちらかといえば高い」との認識でした。

地震に対する備えのひとつに家庭の家具転倒防止対策がありますが、対策を行っていない人は、158人中24人と多くの方が大地震への備えを行っていることが分かりました。また、対策を行っていない人のうち、「費用がかかる」「自分で設置できない」と回答した方がいたことについては、家具転倒防止等設置事業の周知を図る必要性も判明しました。

備蓄に関しては、全体の約8割の方が何かしらの災害に備えをしており、備蓄をしていない理由のひとつとして、「消費期限の管理が面倒」「何を備蓄すればいいかわからない」との回答もあり、啓発を積極的に図っていく必要性を感じました。

新居浜市防災センターについては、知っている人が約75%で、ホームページや市政だよりで知った人が多いことが分かった反面、「知っているが、利用したことない」と回答した人が約60%、「利用したことがある」人でも利用回数が「1回」と回答した人が約60%であり、施設の周知方法や繰り返し利用していただく工夫の必要性を感じました。また、「利用したことがない」と回答した人のうち、最も多かったのが「利用する時間がない」との結果から、体験案内の一部の提供も検討する必要があると認識しました。

新居浜市総合防災マップについては、持っていると回答した人、約55%おり、確認も自治会活動や防災訓練などの際に活用されていることが分かりました。また、マップの在り方や形態については、「紙の印刷」で「複数のリスク掲載のA4冊子」が必要という意見が大多数を占める結果となりました。

今回のアンケートにご回答、貴重なご意見をいただきましたモニターの皆様にはお礼を申し上げます。ありがとうございました。今後の本市防災・減災の取り組みに生かしたいと考えます。

(担当課：危機管理課)



©NPO 法人新居浜まぢゅり隊